

Iwami Art Museum

平成18
[2006]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2006 - March 2007

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
その他の展覧会	12
特別展	13
コレクション展	16
教育普及活動	23
ボランティア	25
連携事業	26
所蔵作品一覧	27
受贈作品一覧	41
所蔵作品貸出実績	42
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	43
予算概要	44
鳥根県芸術文化センター条例	45
鳥根県立石見美術館管理規則	50
館の概要	53
施設概要	54
面積一覧	55
運営組織体制	56
利用案内	57

活動方針・活動内容

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域にはぐまれてきた文化を大切にしながら、地域とともに新しい芸術文化を育むとともに、その創造をめざします。

活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	森鷗外と美術	平成18年7月14日～8月28日
	展示室D	スポーツウェアの革命	平成18年9月16日～11月28日
	展示室D	高円宮家所蔵 雅・みやび 宮中装束と根付展	平成18年12月16日～平成19年1月29日
	展示室D	美しさへの挑戦	平成19年2月24日～4月9日
特別展	展示室A	古代出雲歴史博物館移動展 新資料に見る石見の歴史	平成18年6月14日～8月28日
	展示室C	宝塚歌劇団展	平成18年11月8日～11月28日
コレクション展	展示室A	近代の冒険—島根の美術	平成18年8月30日～10月30日
	展示室A	雪舟からの旅立ち 雲谷派の画家たち	平成18年11月1日～12月4日
	展示室A	美しき天然 花鳥と山水	平成18年12月6日～平成19年1月22日
	展示室A・C	森村泰昌展—美に至る病 女優になった私	平成19年1月24日～4月9日
	展示室B	ファッション雑誌の可能性	平成18年6月14日～9月4日
	展示室B	ロシア・アヴァンギャルド	平成18年9月6日～10月23日
	展示室B	版画の多様性—木口木版画	平成18年10月25日～11月20日
	展示室B	ちいさきものはみなうつくし	平成18年11月22日～平成19年2月26日
	展示室B	ほとけさまのファッション	平成19年2月28日～4月16日
	展示室C	オートクチュールの世界	平成18年5月13日～8月20日
	展示室C	デュフィとアールデコ	平成18年8月26日～11月5日
	展示室C	現代美術入門	平成18年12月3日～平成19年1月21日
その他の展覧会	展示室D	益田市美術展及び独立書道益田共同展	平成18年6月15日～6月19日
	展示室D	山陰二紀益田展	平成18年6月30日～7月3日
	展示室D	第39回島根総合美術展(県展)移動展	平成18年12月6日～12月10日

企画展 森鷗外と美術

展覧会名：森鷗外と美術 石見人森林太郎、美術ヲ好ム

会 期：平成18年7月14日(金)～8月28日(月)

休 館 日：火曜日(但し8月15日は開館)

観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円
前売券[企画・常設展セット]

一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

※()内は20名以上の団体料金。

※小中高生の学校利用は無料。

※障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館

共 催：中国新聞社

特別協力：森鷗外記念会、文京区本郷図書館鷗外記念室、森鷗外記念館

協 力：紀伊國屋書店、今井書店、ブックセンタージャスト

後 援：NHK松江放送局、山陰中央テレビ、山陰放送、日本海テレビ、エフエム山陰、石見ケーブルビジョン、サンネットにちはら、テレビ新広島、広島ホームテレビ、中国放送、tysテレビ山口、YAB山口朝日放送、KRY山口放送、エフエム山口

助 成：財団法人 地域創造

内 容

日本近代を代表する文豪、森鷗外。軍人であり、医学者でありながら数々の文学作品を残したことで知られているが、美術に関する著作や業績が多く、様々な美術家たちと交友があったことはあまり知られていない。この展覧会では、時には情熱的な論客として、時には温かい庇護者として、美術家たちと共に歩んだ鷗外の足跡を、原田直次郎、黒田清輝ら、ゆかりの美術家の作品によってたどった。

新聞、雑誌掲載

中国新聞 7月21日 澄川喜一「文化立国めざした文豪」

山陰中央新報 7月28日 澄川喜一「森鷗外と美術展(上)」

山陰中央新報 7月29日 川西由里「森鷗外と美術展(下)」

中国新聞 8月14日夕刊 川西由里「絵とことば」

産経新聞 大阪 9月20日 寺西肇「文豪が見た新時代の美 和歌山県立近代美術館「森鷗外と美術」展」

毎日新聞 大阪 9月29日夕刊 田原由紀雄「鷗外“美術紹介者”の顔 和歌山県立近代美術館で展覧会」

京都新聞 9月30日 岩本敏朗「啓蒙主義者の美の理想とは「森鷗外と美術」展」

大阪日日新聞 10月17日 村上敬「関西美術探訪・阪大美学研究室222 「森鷗外と美術」展の見どころ 多才な人物の軌跡検証」

聖教新聞 11月15日 堀切正人「森鷗外と日本美術の近代化」

日本経済新聞 11月16日夕刊 山脇佐江子「森鷗外と美術 新たな切り口新鮮な感興」

静岡新聞 11月25日夕刊 堀切正人「森鷗外と美術 若い画家を発掘、庇護」

朝日新聞 12月5日 西田健作「ナビゲーター 鷗外通じ探る近代」

読売新聞 12月15日 前田恭二「鷗外が見た近代美術」

『紫明』第19号 奥平俊六「近代日本の青春と洋画 「森鷗外と美術」」[カタログ評]

『芸術新潮』2006年12月号 三浦篤「文豪の多面性」

平成19年版『美術家名鑑』「2006年 美術界の動向」

『美術手帖』2007年2月号 北澤憲昭「森鷗外と美術 多面性・鷗外に映る 美術の多面性」(企画展レビュー)

『美術研究』391第号 青木茂「展覧会評 森鷗外と美術」平成19年3月

印刷物

展覧会図録『森鷗外と美術』

内 容：図版 絵画、彫刻、資料 計356点

資料 原田直次郎作品集

徳富蘇峰記念館所蔵 徳富蘇峰宛 原田直次郎書簡

序論 川西由里「鷗外が見た明治、大正の美術」

各論 高橋裕次「森鷗外と帝室博物館蔵書について」

宮本久宣「原田直次郎の肖像画をめぐる『原田直次郎作品集』から」



展覧会ポスター



会 場

堀切正人「森鷗外と肖像」

村上 敬「鷗外とミュージアム 遊就館整理事業をめぐって」

作品作家解説

関連年譜

主要参考文献

判 型：225mm×160mm 368ページ

編 集：島根県立石見美術館、和歌山県立近代美術館、静岡県立美術館

デザイン：野村デザイン制作室

印 刷：大村印刷株式会社

発 行：森鷗外と美術展実行委員会

※2007年度美術館連合協議会優秀カタログ賞受賞

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4変形(横長二つ折り)

ポイントガイド：A3三つ折り

オリジナルポストイット

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

共同開催館：和歌山県立近代美術館 平成18年9月10日(日)～10月22日(日)

静岡県立美術館 平成18年11月7日(火)～12月17日(日)

関連事業

「森鷗外と美術」展 開催記念講演会

講 師：森 まゆみ(作家)

日 時：7月15日(土) 14:00～15:30

会 場：講義室

聴 講 者：77名



ワークショップ「鷗外先生の解剖学ダンス」

ワークショップ「鷗外先生の解剖学ダンス」

講 師：上村なおか(ダンサー)

① 体ってどうなっているんだ編

日 時：7月29日(土)13:00～18:00

会 場：スタジオ1

参 加 者：15名

② たまには体をうごかしてみるか編

日 時：7月30日(日)10:00～12:00

会 場：スタジオ1

参 加 者：6名

音楽劇「パッパ鷗外 石見人森林太郎音楽ヲ好ム」

出 演：福沢亜希子、佐藤まどか、吉田敦、花てまり(後藤直、後藤幹)、橋本しのぶ

日 時：7月22日(土)18:30開演

会 場：小ホール

入 場 者：200名

ピアトーク「プロジェクト鷗外 展覧会ができるまで」

講 師：川西由里(当館主任学芸員)

日 時：8月20日(日)18:00～19:30

会 場：レストラン「Pony」

参 加 者：15名

「夏休み自由研究おたすけ塾 親子のためのギャラリートーク」

講 師：川西由里(当館主任学芸員)

日 時：8月12日(土)、26日(土) いずれも11:00～

参 加 者：計12名

ギャラリートーク

講 師：川西由里(当館主任学芸員)

日 時：7月16日、23日、30日、8月6日、13日、20日、27日 いずれも14:00～

参 加 者：合計約140名

企画展 スポーツウェアの革命



展覧会ポスター



会場

展覧会名：スポーツウェアの革命 もうひとつの20世紀ファッション

会 期：平成18年9月16日(土)～11月28日(火)

休 館 日：火曜日(但し11月28日は開館)

観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

※()内は20名以上の団体料金。

※小中高生の学校利用は無料。

※障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、読売新聞大阪本社

企画協力：プレントラスト

協 力：ミズノ株式会社

後 援：報知新聞社、日本海テレビ、KRY山口放送、広島テレビ、石見ケーブルビジョン、サンネットにちはら、ふれあいチャンネル

内 容

ファッションを美術館の収集方針のひとつとして掲げる当館の開館一周年記念展として開催した企画。

20世紀初頭、社会の変革にともない女性の地位および役割が変化し、併せて女性のファッションも劇的な変容を遂げた。女性服にみとめられる、この際だって新しい様式に大きな影響を与えたスポーツウェアに焦点をあてる内容。スポーツウェアの機能性への配慮が、ズボンの着用やコルセットの排除といった女性服の変革を促したこと、そしてスポーツウェアの持つ機能性や快適さがモードに様々なヒントを与え続けていることをおよそ100点の衣装、写真、版画などにより紹介した。来館者がスポーツウェアとファッション、さらには衣服をまとう私たちの身体について再考する機会ともなるよう、こうした展覧会にあわせ、ダンス・パフォーマンスなどのイベントも開催した。

主な出品作家

ポール・ポワレ、ガブリエル・シャネル、マドレーヌ・ヴィオネ、エルザ・スカパレリ、クリア・マッカーディル、アンドレ・クレージュ、エミリオ・プッチ、ルディ・ガンライヒ、アウグスト・ザンダー、ジャック＝アンリ・ラルティエグ、マーティン・ムンカッチ、ジョルジュ・バルビエ、アンドレ・マルティ他

新聞、雑誌

読売新聞 [展覧会紹介記事 9月13日]

読売新聞 [展示作業紹介記事 9月15日]

読売新聞 [展覧会開幕記事 9月17日]

山陰中央新報 [展覧会開幕記事 9月17日]

読売新聞 [講演会開催記事 9月24日]

読売新聞 [展覧会紹介記事 9月23日]

読売新聞 [作品紹介 9月23日]

読売新聞 [作品紹介 10月1日]

読売新聞 [作品紹介 10月3日]

読売新聞 [子どもプログラム紹介記事 10月5日]

読売新聞 [作品紹介 10月8日]

読売新聞 [カフェトーク開催記事 10月8日]

読売新聞 [子どもプログラム開催記事 10月9日]

読売新聞大阪版 [文化欄 南目美輝(当館主任学芸員)寄稿 10月11日]

朝日新聞東京版 夕刊 [ファッション 中野香織氏コラム 10月13日]

読売新聞 [子どもプログラム紹介特集記事 10月14日]

日経新聞 [「モードの方程式」 中野香織氏 10月20日]

読売新聞 [作品紹介 10月20日]

読売新聞 [ダンスイベント紹介記事 11月4日]

読売新聞 [ダンスイベント紹介記事 11月19日]

中国新聞 [展覧会紹介記事 11月21日]

地域創造レター 2006年10月号

Casa BRUTUS 2006年10月号

他



ダンス公演チラシ



千日前青空ダンス倶楽部「水の底」



まことクラヴ「スポーツの種」

関連事業

スポーツウェア展 関連イベント

[記念講演会] 「スポーツウェアにひそむ物語」

講 師：中野香織(服飾史家・コラムニスト)
日 時：9月23日(土・祝)
聴 講 者：50人

[うごく身体をじっくり見る。ダンス公演]

その 1：カラダの革命

国内外で活躍する関西の舞踊家が、グラントワの多様な空間を活かした身体表現を行った。

日 時：11月3日(金・祝)

場 所：正面エントランス→スタジオ1→中庭

観 覧 者：3部延べ約400人

1 部：振付・構成・出演：伊藤愛

2 部：千日前青空ダンス倶楽部「水の底」

振付・構成：紅玉 出演：稲吉／てるてる／ぼん太／あやめ

3 部：新世界ゴールデンファイナンス「ドグラ・マグラ」

振付：竹ち代穂也 出演：中西朔／内山大／南弓子／きたまり／竹ち代穂也

舞台監督：藤村司郎 照明：岩村原太 ディレクター：大谷燮

コーディネーター：小石原剛

その 2：ジャージの革命

ワークショップ「種まき運動」

「まことクラヴ」の公演に出演する地域の人を募り、ワークショップを実施。

講 師：遠田誠(ダンサー・振付家)

日 程：11月16日(木)17日(金)18:30～20:30 18日(土)10:00～12:00

対 象：ダンス経験不問 性別・年齢不問

「スポーツの種」リハーサルと本番に参加できる方

会 場：益田市民体育館

参 加 者：11名

公演「スポーツの種」

「まことクラヴ」がグラントワの空間をトラックにみたく、スポーツとダンスの境界を行き来するパフォーマンスを披露。ワークショップ生も参加。演奏は地元の交響楽団に依頼した。

出 演：まことクラヴ

日 時：11月18日(土)17:00～18:00

会 場：中庭 回廊 展示室

観 覧 者：約100人

「まことクラヴ」プロフィール

2001年より各地に出没している部活動集団。ダンス・パフォーマンス、諧謔、グラフィック・デザイン等を武器に、電車内、商店街、路地、店舗、駅のホーム、歴史建造物等、公共空間で突発的に行われる“屋外活動”の映像と舞台作品とを対峙させた手法による「部活動報告会」「please! peach boy.」「Yシネマ綺譚」「ニッポニア・ニッポン」他を発表。ジャージに背番号付き。東京コンペ#2ダンスバザール大賞受賞。

[カフェトーク]

スポーツウェアと女性、そして当時の社会との関わりについてスライドを交えてのトークを行った。あわせて、「スポーツ」にちなんだ飲み物を用意した。

講 師：南目美輝(当館主任学芸員)

実 施 日：10月7日(土)

会 場：講義室

聴 講 者：30名

[こどもプログラム] 「サッカー・ユニホームのおはなし」

サッカーの各国代表チームのユニホームについてのトーク。ユニホームの試着も実施。

実 施 日：10月8日(日)

参 加 者：58人

[学芸員によるギャラリートーク]

講師：南目美輝

実施日：会期中の毎週日曜日14:00～

参加者：約220人

印刷物

展覧会図録『スポーツウェアの革命 もうひとつの20世紀ファッション』

内容：図版 衣装73点

執筆 ベバリー・パークス「女性とスポーツウェア」

南目美輝「1920年代の「新しい女性」 スポーツウェア／レジャー・ウェア／アール・デコ」

判型：B5版 196頁

編集：南目美輝

アートディレクション：大溝 裕(グランツ)

デザイン：赤松幸子(グランツ)

制作・編集協力：株式会社ブレントラスト

発行：島根県立石見美術館

展覧会ポスター：B2 (デザイン：大溝 裕、赤松幸子)

展覧会チラシ：A3二つ折り (デザイン 同上)

ポイントガイド：A3三つ折り (デザイン：野村デザイン制作室)

オリジナルステッカー (デザイン：大溝 裕、赤松幸子)



カタログ



オリジナル・ステッカー

企画展 雅・みやび—宮中装束と根付展



展覧会ポスター



会場



会場

展覧会名：高円宮家所蔵 雅・みやび—宮中装束と根付展

会 期：平成18年12月16日(土)～19年1月29日(月)

休 館 日：火曜日及び年末年始(12月26日～1月1日)(但し1月2日は開館)

観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
小 中 高 生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

※()内は20名以上の団体料金。

※小中高生の学校利用は無料。

※障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、山陰中央新報社

後 援：朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞松江支局、日本経済新聞社松江支局、中国新聞松江支局、新日本海新聞社、(株)島根日日新聞社、共同通信社、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、山陰中央テレビ、BSS山陰放送、日本海テレビ、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、KRY山口放送、エフエム山陰、広島エフエム放送、エフエム山口、サンネットにちはら、石見ケーブルビジョン

内 容

平成14年11月、47歳の若さで薨去された高円宮憲仁親王殿下は、根付のコレクターとして知られていた。今回の展覧会は、殿下の収集された根付と印籠、緒締553点を展示すると同時に、殿下の撮影された写真80点、高円宮家が所蔵されている宮中装束13点を展示した。

関連記事

山陰中央新報 [妃殿下インタビュー特集記事 12月10日]

山陰中央新報 [展示作業紹介記事 12月15日]

山陰中央新報 [展覧会開幕記事 12月17日]

読売新聞 [展覧会開幕記事 12月17日]

朝日新聞 [展覧会開幕記事 12月17日]

中国新聞 [展覧会開幕記事 12月17日]

毎日新聞 [展覧会開幕記事 12月17日]

山陰中央新報 [妃殿下講演会記事 12月17日]

山陰中央新報 [宮中装束講演会記事 12月18日]

山陰中央新報 [石見根付制作実演記事 1月19日]

朝日新聞 [澄川センター長講演会記事 1月19日]

山陰中央新報 [妃殿下ギャラリートーク記事 1月28日]

毎日新聞 [妃殿下ギャラリートーク記事 1月28日]

中国新聞 [妃殿下ギャラリートーク記事 1月28日]

関連事業

高円宮妃久子殿下ご講演「根付・その小さな宇宙」

講 師：高円宮妃久子殿下

日 時：12月16日(土)14:00～15:00

会 場：小ホール

聴 講 者：430名

仙石宗久氏講演会「宮廷の文化一年中行事とお召し物」

講 師：仙石宗久(有職文化研究所)

日 時：12月17日(土)13:30～15:00

会 場：講義室

聴 講 者：40名



妃殿下講演会

澄川喜一センター長講演会「根付から新東京タワーまで」

講 師：澄川喜一(当館館長、島根県芸術文化センター長)
 日 時：1月13日(土) 13:30～15:00
 会 場：講義室
 聴 講 者：120名

根付制作実演と講演「ひと振り ひと彫り 木に学ぶ」

講 師：田中俊晞(江津市在住・彫刻家)
 日 時：1月20日(土) 13:30～15:00
 会 場：講義室
 聴 講 者：110名

高円宮妃久子殿下下展示作品解説会

講 師：高円宮妃久子殿下
 日 時：1月27日(土) 11:30～12:30
 会 場：当館展示室D(企画展示室)
 聴 講 者：100名



記念レセプション

ギャラリートーク

講 師：的野克之(当館学芸グループ課長)
 日 時：12月24日(日)、1月14日(日)、20日(日) 14:00～15:00
 聴 講 者：合計90名

印刷物

展覧会ポスター：B2
 展覧会チラシ：A4



根付制作実演と講演

企画展 「美しさへの挑戦 ヘアモード・メイクアップの300年」展



展覧会ポスター



会場



結髪実演

展覧会名：美しさへの挑戦 ヘアモード・メイクアップの300年

会 期：平成19年2月24日(土)～4月9日(月)

休 館 日：火曜日

観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

※()内は20名以上の団体料金。

※小中高生の学校利用は無料。

※障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、NHK松江放送局、NHKちゅうごくソフトプラン

協 賛：POLA

特別協力：ポーラ文化研究所／ポーラ美術館

協 力：高砂香料工業株式会社

制作協力：NHKプロモーション

後 援：山陰中央新報社、中国新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、エフエム山陰、エフエム広島、エフエム山口、石見ケーブルビジョン、サンネットにちはら

内 容

いつの時代も、洋の東西を問わず、美しくなるための努力を惜しまなかった女性たちにとって、化粧、髪型、衣装、そして装身具は、常に興味の対象であり続けた。展覧会では、ポーラコレクションの品々を中心に、日本と西洋の各時代の化粧道具、髪型(結髪髷型)、衣装、装身具、そして絵画資料などから探った。

雑誌、記事

山陰中央新報【展覧会開幕記事 2月25日】

中国新聞【結髪実演紹介記事 3月4日】

読売新聞【講演会紹介記事 3月19日】

中国新聞【展覧会紹介記事 4月3日】

関連事業

オープンスタジオ「香りを創ろう」

日 時：2月24日(土)、2月25日(日)、4月7日(土)、4月8日(日)

いずれも13:00～17:00

会 場：講義室、参加料100円

参 加 者：合計249名

結髪実演「見てナットク!日本髪的美しさ」

結 髪 師：林照乃、解説 村田孝子(ポーラ文化研究所)

日 時：3月3日(土)13:00～15:30

会 場：多目的ギャラリー

見 学：125名

香りをきく、きく香り

講 師：中村祥二(国際香りと文化の会会長)

コンサート出演：日比野 幸、佐藤 まどか、相川 陽子

日 時：3月10日(土)14:00～16:00

会 場：講義室、美術館ロビー

聴 講 者：80名

キッズオープンスタジオ「ビーズブレスレッドを創ろう」

日 時：3月11日(日)13:00～17:00

会 場：講義室

参 加 料：150円 50名先着順

参 加 者：64名



講演会

講演会「芸妓の世界—装いを中心に」

講 師：谷川恵（「島之内たに川」若旦那）
 日 時：3月18日（日）14:00～15:00
 会 場：講義室
 聴 講 者：75名

舞台メイク実演「見てナツク!マリー・アントワネットの美」

講 師：スタジオAD
 日 時：3月30日（金）13:00～
 会 場：美術館ロビー
 見 学 者：50名

大奥体験「見てナツク!江戸の姫君」

講 師：かつら：斎藤 三郎（丸善かつら）、メイク：吉場 一美、着付：中島 千明（ローズ美容室）
 日 時：3月31日（土）15:00～
 会 場：美術館前室
 見 学 者：80名



大奥体験

ギャラリートーク

講 師：川西由里（当館主任学芸員）
 日 時：3月4日（日）、3月25日（日）、4月8日（日）いずれも14:00～
 参 加 者：合計70名

つるしびな

来館者による制作：2月24日～3月19日 会場 美術館前室
 展 示：3月1日～31日 会場 美術館ロビー

印刷物

展覧会ポスター：B2
 展覧会チラシ：A4

その他の展覧会

益田市美術展及び独立書道益田共同展

会 期：6月15日(木)～19日(月)
場 所：展示室D

山陰二紀益田展

会 期：6月30日(金)～7月3日(月)
場 所：展示室D

第39回島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：平成18年12月6日(水)～12月10日(日)
展示作品数：105点
場 所：展示室D

特別展

展示室A

島根県立古代出雲歴史博物館移動展 新資料に見る石見の歴史

会 期：平成18年6月14日(水)～8月28日(月)

内 容：平成19年3月、出雲大社の東隣に島根県立古代出雲歴史博物館が開館する。新たな歴史博物館の開館にさきだち、移動展としてこれまで蒐集してきた歴史資料の内、柿本人麻呂や石見銀山など石見にかかわる主なものを展示・紹介した。

出品リスト

No.	資料名	サブタイトル等	数量	年代	材質等
I.目でたどる石見の姿					
1	日本国大絵図		1舗	1651(慶安4)頃 幕末写	紙本淡彩
2	新刻日本輿地路程全図		1舗	19世紀前半	紙本木版淡彩
3	官板実測日本地図	大学南校版	1舗	1871(明治4)	紙本木版色摺
4	寛永石見国絵図		1舗	1633(寛永10)頃か 幕末写	紙本淡彩
5	石見国大絵図		1舗	1649～82(慶安2～天和2)	紙本淡彩
6	大日本府県全図		1枚	1872(明治5)	紙本銅版色摺
7	島根県観光鳥瞰図		1枚	1930(昭和5)	絹本著色
8	島根県名勝遊覧図絵		1枚	1930(昭和5)	紙本石版多色印刷
9	「倭漢三才図会」 卷第七十九	卷第七十九	1冊	1713(正徳3)	紙本木版
10	六十余州名所図会 石見高津山汐浜		1枚	1853～56(嘉永6～安政3)	紙本木版色摺 大判
11	石見有福温泉		1枚	1924(大正13)	紙本木版色摺
II.歌聖・柿本人麻呂					
12	柿本人麻呂像		1幅	室町時代	絹本著色
13	超大極秘人麻呂伝		1巻	17世紀末	紙本墨書著色
14	人麻呂集	柿本朝臣人麻呂歌集之歌	1冊	1768年(明和5)編・1724(文政7)刊	紙本木版
15	柿本人麻呂事跡考		1冊	1772(明和9)	紙本木版
III.中世石見の新資料					
16	佐波幸連請書案		1幅	1417(応永22)十一月七日付	紙本墨書
17	毛利氏奉行人連署状	石田家文書の内	6通の内1通	1571年(元亀4)五月九日付	紙本墨書
IV.世界遺産・石見銀山					
18	「天工開物」	巻下 五金第十四	3冊の内1冊	1637(崇禎10)年・民国18年版	紙本石版摺
19	慶尚道図	朝鮮八道図の内	8舗の内1舗	19世紀か	紙本淡彩
20-1	「纂斎集」巻之四	「異称日本伝」下之三 所収	15冊の内2冊	16世紀中頃	紙本木版
20-2	「図書篇」巻五十 下	「異称日本伝」中之五 所収	15冊の内2冊	1577(万暦5)	紙本木版
21	「初渡集」	「入明記」の内	6冊の内1冊	1539～41(天文8～11・嘉靖18～21)	紙本墨書
22	「遍歴記」		1冊	1627年版(スペイン語版第2版)	紙本印刷
23	オルテリウス 東インド図		1枚	1575年版	紙本銅版筆彩
24	オルテリウス 日本図	ティセラ型	1枚	1595年版	紙本銅版筆彩
25-1	オルテリウス 日本諸島図		1枚	1604年版	紙本銅版
25-2	バルティウス 日本諸島図		1枚	1616年版	紙本銅版筆彩
26	ファン・ラングレン 東アジア図		1枚	1618年版	紙本銅版筆彩
27	ホンディウス 中国図	メルカートル型	1枚	1630年頃	紙本銅版
28	ブラウ 中国図		1枚	1638年版	紙本銅版筆彩
29	ホンディウスII世 アジア図		1枚	1623年版	紙本銅版筆彩
30	ホンディウス/ヤンソン アジア図		1枚	1632年版	紙本銅版筆彩
31	ブラウ 東インド図		1枚	1640年版	紙本銅版筆彩
32	フィッセル 東インド諸島図		1枚	1650年版	紙本銅版筆彩
33	ヤンソン世界図		1枚	1683年版	紙本銅版筆彩
34	ダッドレイ 日本図		1面	1661年版	紙本銅版
35	長崎出島図	(モンタヌス「日本誌」所収)	1枚	1669年	紙本銅版
36	オランダ東インド会社組織図		1枚	1701年	紙本銅版
37	オランダ東インド会社関係銅版図		5枚の内1枚	17世紀末	紙本銅版
38	オランダ東インド会社関係銅版図		5枚の内1枚	17世紀末	紙本銅版
38	覚(高野了喜書状)	駒沢勘右衛門他宛	1枚	1604-07(慶長9～12)頃	紙本墨書
39	リチャード・コックス日記		2冊	1615-22 1882年版	紙本印刷
40	「金銀図録」巻之四		7冊の内1冊	1823(文政6)	紙本木版色摺
41	灰吹銀		1枚	桃山時代	
42	慶長丁銀		1枚	1601-95(慶長6～元禄8)	
43	佐州金山之図		1巻	江戸後期	紙本著色
44	佐渡金銀採製全図		1巻	明治初期	紙本著色
45	鼓銅図録		1冊	1804～18(文化年間)	紙本木版色摺
46	日本山海名物図会 巻之一		5冊の内1冊	1754(宝暦4) (1797(寛政9)年版)	紙本木版

47	九州道の記		1冊	1587(天正15) (1669(寛文9)年版)	紙本木版
48	温泉津日記		2冊	1820(文政3)	紙本木版
V. 石見の文化・学問					
49	仮名手本忠臣蔵 大序		3枚組	明治初頃	紙本木版色摺 大判
50	仮名手本忠臣蔵 三段目		1枚	1872(明治5)	紙本木版色摺 大判
51	誠忠義士伝		12枚の内6枚	1866(慶応2)	紙本木版色摺 大判
52	「金龜山千本初花」の内 鏡山仕合の場		3枚組	1857(安政4)	紙本木版色摺 大判
53	「恵閨初夏藤」の内 草履打の場		2枚	1849年(嘉永2)	紙本木版色摺 大判
54	絵本鏡山烈女功		5冊の内2冊	1803年(享和3)	紙本木版
55	古今名婦伝 下女お初		1枚	幕末	紙本木版色摺 大判
56	百番石立		1冊	1756(宝暦6)	紙本木版
57	道の春		2枚	1843(天保14)	紙本木版
58	妙好人伝 三編		2冊の内1冊	1847(弘化4)	紙本木版
59	本学挙要		1冊	1855(安政2)	紙本墨書
60	禁秘響		1冊	1840(天保11)	紙本木版
61	諸国名義考		2冊	1810年(文化6)	紙本木版
62	正骨範		2冊	1807(文化4)	紙本木版
63	万国公法		2冊	1868(慶応4)	紙本木版
64	利学		1冊	1877年(明治10)	紙本木版
65	明六雑誌		合綴3冊の内2冊	1873～75(明治6～8)	紙本印刷
VI. 長州戦争と石見					
66	從撰州尼ヶ崎至長州萩之府細見記		1枚	1865年(慶応元)	紙本木版
67	長征石見戦争聞書		1冊	1866～67年(慶応2～3)	紙本墨書
68	参考)ゲペール銃		1挺	幕末	鉄製
69	幕府へ建白書案		1冊	1866年(慶応2)	紙本墨書
70	朝廷へ建白書案		1冊	1866年(慶応2)	紙本墨書
71	小柴菅田處士松樹図		1幅	1881年(明治14)	紙本墨画
72	福羽美静書状	岩倉具視外務卿宛	1枚	1871(明治4)七月廿八日付	紙本墨書

関連事業

講座① 「新資料に見る石見の歴史」

講 師：岡 宏三(古代出雲歴史博物館 専門学芸員)

日 時：6月17日(土)14:00～

聴 講 者：40名

講座② 「神々の国にできる新博物館—古代出雲歴史博物館について」

講 師：椋木賢治(古代出雲歴史博物館 主任学芸員)

日 時：7月1日(土)14:00～

聴 講 者：30名

講座③ 「欧米の世界遺産銀山と石見銀山」

講 師：佐伯徳哉(島根県教育庁文化財課 専門研究員)

日 時：7月29日(土)14:00～

聴 講 者：20名

印刷物

展覧会図録『開館プレ事業 島根県立古代出雲歴史博物館移動展 新資料に見る石見の歴史』

内 容：図版 72点

解説

A4 44頁

執 筆：鳥谷芳雄(島根県教育庁文化財課 専門研究員)

佐伯徳哉(島根県教育庁文化財課 専門研究員)

目次謙一(島根県教育庁文化財課 文化財主任)

和田美幸(石見銀山歴史文献調査団員)

岡 宏三(古代出雲歴史博物館 専門学芸員)

編 集：岡 宏三(古代出雲歴史博物館 専門学芸員)

発 行：島根県立古代出雲歴史博物館

展覧会チラシ：A4

宝塚歌劇団花組公演開催記念 華麗なる宝塚歌劇展

展覧会名：宝塚歌劇団花組公演開催記念 華麗なる宝塚歌劇展

会 期：平成18年11月8日(水)～28日(火)

休 館 日：火曜日(但し11月28日は開館)

観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

※()内は20名以上の団体料金。

※小中高生の学校利用は無料。

※障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

※同料金で、同時開催中の「スポーツウェアの革命 もうひとつの20世紀ファッション」に入場可。

主 催：島根県立石見美術館、島根県文化振興財団

内 容

宝塚92年の歴史からミニチュア大階段まで、身近に宝塚を味わえる企画。豪華な衣裳8点、ハットコレクション19点、写真パネル120点以上、DVD上映2箇所など。

展示室A

近代の冒険—島根の美術—

会 期：平成18年8月30日(水)～10月30日(月)

内 容：島根県所蔵の島根ゆかりの洋画を紹介。島根県出身の画家の作品、島根の風景を描いた作品などで、洋画の歴史を振り返った。

出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	草光 信成	机上の静物	大正14(1925)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
2	木村 義男	女	大正8(1919)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
3	木村 義男	示型裸婦	昭和6(1931)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
4	矢田 清四郎	足拭く女	大正15(1926)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
5	中尾 彰	残塁	昭和6(1931)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
6	中尾 彰	静物	昭和6(1931)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
7	山崎 修二	二人の少女	昭和6(1931)	油彩、カンヴァス	
8	山崎 修二	初冬	昭和11(1936)	油彩、カンヴァス	
9	山崎 修二	髪	昭和14(1939)	油彩、カンヴァス	
10	山中 徳次	子供(夏)	昭和15(1940)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
11	中島 宣矩	風景	昭和27(1952)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
12	中島 宣矩	ストーブのある室内	昭和28(1953)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
13	小林 萬吾	隠岐の島	昭和初年頃	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
14	斎藤 与里	水郷の朝	昭和14(1939)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
15	小泉 清	裸婦	昭和27(1952)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
16	小泉 清	海		油彩、カンヴァス	島根県立美術館
17	牛島 憲之	灯台(日御碕)	昭和39(1964)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
18	喜多村 知	北国海辺	昭和48(1973)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
19	喜多村 知	能生	昭和63(1988)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
20	香月 泰男	鯉と犬	昭和25(1950)	油彩、カンヴァス	
21	香月 泰男	ヴァンドーム広場	昭和48(1973)	油彩、カンヴァス	

展示室A

雪舟からの旅立ち 雲谷派の画家たち

会 期：平成18年11月1日(水)～12月4日(月)

内 容：山口県立美術館の「雪舟への旅」展との連携企画。「雪舟末孫」を名乗った雲谷派の作品に加え、「雪舟流」の画家、等碩、雪舟の絵を写した狩野栄信の作品を展示した。会場には、雲谷派の特徴や雪舟作品との比較を図版入りで示したカードを設置した。ボランティアによるギャラリートークを実施。

出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画	
2	雲谷 等顔	山水人物花鳥図 押絵貼屏風	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	
3	雲谷 等益	四季山水図屏風	江戸時代初期(元和年間頃)	紙本墨画淡彩	
4	雲谷 等益	山水図屏風	江戸時代初期(寛永中期頃)	紙本墨画淡彩	
5	等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩	
6	斎藤 等室	山水図	江戸時代初期	紙本墨画	
7	雲谷 等的	山水図	江戸時代初期	紙本墨画	
8	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代初期	絹本墨画淡彩	
9	狩野伊川院栄信(画)／松平不昧(賛)	富士三保清見寺図(原本は雪舟)	江戸時代後期	絹本墨画	

コレクション展

展示室A 美しき天然

会 期：平成18年12月6日(水)～平成19年1月22日(月)

内 容：近世、近代の日本画から、花鳥画、山水画を展示。ボランティアによるギャラリートークを実施した。

出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	横山 大観	水温む	昭和29(1954)	紙本墨画	
2	田中 頼璋	白雲紅樹	昭和9(1934)	紙本墨画	
3	今尾 景年	花鳥図屏風	明治―大正時代	絹本著色	
4	西 晴雲	湖南漁舟 緑陰仙居	昭和3(1928)	紙本著色	
5	西 晴雲	四季花木図	大正末期頃(1920代頃)	紙本著色	
6	山本 栞谷	月下横臥図	万延元(1860)	絹本淡彩	
7	長谷川派	武蔵野図屏風	桃山―江戸時代初期(1600頃)	紙本金地著色	
8	中林 竹溪	秋草に雀図	江戸時代後期(19世紀)	絹本著色	
9	中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	天保2(1831)	絹本著色	
10	中林 竹洞	湖山清遠図	天保5―8頃(1834-1837)	絹本墨画	
11	山本 梅逸	山水図	天保4(1833)	紙本墨画	
12	谷 文晁	滝図	文政11(1828)	絹本著色	
13	富岡 鐵斎	江山招隠図	明治40(1907)	絹本著色	

展示室A、C 森村泰昌 美に至る病 女優になった私

会 期：平成19年1月24日(水)～4月9日(月)

内 容：森村は一貫して変種の自画像とも言える作品を制作し続けている美術家。この度は様々な女優に扮した「女優」シリーズを展示した。衣装や化粧、髪型などにより変化自在に東西の有名女優になりきる様は鑑賞者を圧倒していた。このシリーズは、ファッションをコンセプトのひとつとしてかかげる当館のコレクションのひとつの目玉でもある。

出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
2	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私・2	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
3	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ガルボとしての私・2	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
4	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ヘップバーンとしての私・3	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
5	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／デトリッヒとしての私・2	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
6	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ガルボとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
7	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ビビアン・リーとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
8	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ビビアン・リーとしての私・2	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
9	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ビビアン・リーとしての私・3	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
10	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／リズとしての私・2	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
11	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／リズとしての私・3	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
12	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／リズとしての私・4	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
13	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／リタ・ヘイワースとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
14	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／バーグマンとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
15	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／バーグマンとしての私・2	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
16	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／バーグマンとしての私・3	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
17	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／バルドーとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
18	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／バルドーとしての私・2	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
19	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／バルドーとしての私・3	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
20	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ドヌーブとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
21	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ドヌーブとしての私・2	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
22	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ドヌーブとしての私・3	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
23	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ドヌーブとしての私・4	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
24	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／シルビア・クリステルとしての私・2	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
25	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／シルビア・クリステルとしての私・3	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
26	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ソフィア・ローレンとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
27	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／フェイ・ダナウェイとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
28	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／フェイ・ダナウェイとしての私・2	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
29	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／フェイ・ダナウェイとしての私・3	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
30	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ジェーン・フォンダとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
31	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ボンド・ガールとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
32	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ジョディー・フォスターとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
33	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ジョディー・フォスターとしての私・2	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
34	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ライザ・ミネリとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
35	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ハラ・セツコとしての私	平成8(1996)	エクタ・カラー・ウルトラII、アクリル加工	
36	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ヤマグチ・モモエとしての私	平成8(1996)	エクタ・カラー・ウルトラII、アクリル加工	
37	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／イワシタ・シマとしての私	平成8(1996)	エクタ・カラー・ウルトラII、アクリル加工	
38	森村 泰昌	光るセルフポートレート(女優)／白いマリリン	平成8(1996)	エクタ・カラー・ウルトラII、アクリル加工	
39	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／リズとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
40	森村 泰昌	光るセルフポートレート(女優)／赤いマリリン	平成8(1996)	エクタ・カラー・ウルトラII、アクリル加工	
41	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／デトリッヒとしての私・1	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	
42	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／デトリッヒとしての私・3	平成8(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	

コレクション展

展示室B ファッション雑誌の可能性

会 期：平成18年6月14日(水)～9月4日(月)

内 容：ファッション、アートそして写真が一体となった雑誌『VISIONAIRE』を特集展示した。「ルイ・ヴィトン」や「ディオール」、「コム・デ・ギャルソン」など内容にあわせて毎号毎に全くその装丁を変えるそのスタイルが話題を呼び、コレクターズアイテムともなっているこの雑誌の魅力をまとめて紹介した。

出品リスト

		作品名	制作年	所蔵		作品名	制作年	所蔵
1	VISIONAIRE	18 FASHION SPECIAL	1996		11	VISIONAIRE	44 TOYS	2005
2	VISIONAIRE	30 THE GAME	2000		12	VISIONAIRE	21 DECK of CARD/DIAMOND	1997
3	VISIONAIRE	20 COMME des GARÇON	1997		13	VISIONAIRE	24 LIGHT	1998
4	VISIONAIRE	33 TOUCH	2000		14	VISIONAIRE	32 WHERE?	2000
5	VISIONAIRE	19 BEAUTY 美しさ	1996		15	VISIONAIRE	41 WORLD	2003
6	VISIONAIRE	42 SCENT	2003		16	VISIONAIRE	31 BLUE	2000
7	VISIONAIRE	38 LOVE	2002		17	VISIONAIRE	39 PLAY	2002
8	VISIONAIRE	13 SEVEN DEADLY SINS	1995		18	VISIONAIRE	26 FANTASY	1998
9	VISIONAIRE	28 THE BIBLE	1999		19	ヴァヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス	1994
10	VISIONAIRE	27 MOVEMENT	1999					

展示室B ロシア・アヴァンギャルド

会 期：平成18年9月6日(水)～10月23日(月)

内 容：20世紀初頭のロシアに、革命と並行しておこったロシア・アヴァンギャルド。この時代の新しいテキスタイル・デザインを紹介した。

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-1	1930	水彩、紙	
2		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-2	1929	水彩、紙	
3		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-6	1929	水彩、紙	
4		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画4-11	1929	水彩、紙	
5		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-1	1928	水彩、紙	
6		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-7	1929	水彩、紙	
7		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-8		水彩、紙	
8		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-11	1928	水彩、紙	
9		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-13	1927	水彩、紙	
10		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-15	1927	水彩、紙	
11		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-17	1927	水彩、紙	
12		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-22	1927	水彩、紙	
13		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-24	1928	水彩、紙	
14		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-25	1930	水彩、紙	
15		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画5-26	1928	水彩、紙	
16		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-1		水彩、紙	
17		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-2		水彩、紙	
18		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-3		水彩、紙	
19		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-4	1922	水彩、紙	
20		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-5		水彩、紙	
21		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-6		水彩、紙	
22		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-7	1922	水彩、紙	
23		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-8	1922	水彩、紙	
24	マリア・アノフリエバ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-9		水彩、紙	
25	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-13		水彩、紙	
26	S.ストラスピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-16		水彩、紙	
27	マリア・アノフリエバ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-19		水彩、紙	
28	ナゼレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-21		水彩、紙	
29	ジナイダ・ベレピッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-23		水彩、紙	
30		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-28	1929	水彩、紙	
31		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-29	1930	水彩、紙	
32		ロシア・アヴァンギャルド期のデザイン画6-35	1930	水彩、紙	
33		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-1	1927-30	綿プリント	
34	リュボフ・シリック	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-2	1920-30	綿プリント	
35	リヤ・レイサー	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-3	1929	綿プリント	
36		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-4		綿プリント	
37		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-5	1930-35	絹プリント	
38	ペロゼンツェーヴァ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-6	1930	綿プリント	
39	セルゲイ・ブーリン	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-7	1930	綿プリント	
40		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-8		綿プリント	
41	フェードル・アントノフ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-9		絹プリント	
42	フェードル・アントノフ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-10		綿プリント	
43	D.N.ブレオブラゼンスカヤ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル7-12	1932	綿プリント	
44	ヴェラ・ロトニーナ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル8-1	1929-30	綿プリント	

展示室B 版画の多様性—木口木版画—

会 期：平成18年10月25日(水)～11月20日(月)

内 容：島根県出身の版画家平塚運一の昭和初期の木口木版画。また日和崎尊夫、柄沢齊、小林敬生らの緻密で微細な木口木版の世界を紹介する展示

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	平塚 運一	信州木崎湖	昭和2(1927)	木口木片、紙	島根県立美術館
2	平塚 運一	牡丹	昭和2(1927)	木口木片、紙	島根県立美術館
3	平塚 運一	啄木鳥	昭和5(1930)	木口木片、紙	島根県立美術館
4	平塚 運一	黄楊供養	昭和17(1942)	木口木片、紙	島根県立美術館
5	日和崎尊夫	KAOS NO.1	昭和49(1974)	木口木片、紙	島根県立美術館
6	小林 敬生	漂白 No.8	昭和56(1981)	木口木片、紙	島根県立美術館
6	小林 敬生	蘇生の刻 白い朝E	平成4(1992)	木口木片、紙	島根県立美術館
7	小林 敬生	蘇生の刻 S62-8群舞	平成5(1993)	木口木片、紙	島根県立美術館
8	小林 敬生	蘇生の刻 群舞94-10D	平成6(1994)	木口木片、紙	島根県立美術館
10	小林 敬生	星の時間 漂白 94-11	平成6(1994)	木口木片、紙	島根県立美術館
11	柄沢 齊	方丈記	平成6(1994)	木口木片、紙	島根県立美術館

展示室B ちいさきものはみなうつくし

会 期：平成18年11月22日(水)～平成19年2月26日

内 容：清少納言が枕草子で「ちいさきものはみなうつくし」と言ったように、日本人は古くから小さなものを愛し、数多くの小さな美術作品が作られてきた。今回は、日本人に好まれた小さな美術品(根付、印籠、香合、合子、アクセサリなどの工芸品や、豆本、版画など)を集めて展示した。また、会期中『みんなの「ちいさきもの」集合』と題して、一般から「ちいさな宝物」を募集し、展示室に展示した。

作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
池田満寿夫	豆本 あんま	昭和28(1953)	冊子、銅版画	島根県立美術館
池田満寿夫	豆本 さろめ	昭和34(1959)	冊子、銅版画	島根県立美術館
池田満寿夫	豆本 楊貴妃	昭和42(1967)	冊子、銅版画	島根県立美術館
池田満寿夫	豆本 雛絵本	昭和51(1976)	冊子、銅版画	島根県立美術館
池田満寿夫	豆本 かぐや姫	昭和39(1966)	冊子、銅版画	島根県立美術館
宮 芳平	自画像	昭和9(1934)	エッチング、紙	
宮 芳平	黒百合	昭和9(1934)	エッチング、紙	
宮 芳平	ハヶ嶽	昭和9(1934)	エッチング、紙	
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	昭和10頃(1935)	エッチング、紙	
宮 芳平	御神木	昭和9(1934)	エッチング、紙	
宮 芳平	水	昭和10頃(1935)	エッチング、紙	
宮 芳平	雨 その1	昭和10頃(1935)	エッチング、紙	
宮 芳平	雨 その2	昭和10頃(1935)	エッチング、紙	
宮 芳平	コスモス	昭和10頃(1935)	エッチング、紙	
宮 芳平	雲	昭和8(1933)	エッチング、紙	
宮 芳平	田舎(三日月)	昭和10頃(1935)	エッチング、紙	
宮 芳平	茄子	昭和10頃(1935)	エッチング、紙	
宮 芳平	おぼろの太陽	昭和10頃(1935)	エッチング、紙	
宮 芳平	松	昭和10頃(1935)	エッチング、紙	
宮 芳平	昭子像	昭和10頃(1935)	エッチング、紙	
宮 芳平	庭の花(すみれ)	昭和10頃(1935)	エッチング、紙	
阿部 裕幸	現代根付 明暗	平成17(2005)	猪牙	
宍戸 濃雲	現代根付 柿本人麿	平成17(2005)	猪牙	
高木 喜峰	現代根付 迷い道	平成17(2005)	猪牙	
前田 中	現代根付 番(つがい)	平成17(2005)	猪牙	
和地 一風	現代根付 月下の祈り	平成17(2005)	猪牙	
富春	石見根付 蓮葉に養亀	寛政4(1792)	鯨の歯	
富春	石見根付 鮑に蟹	寛政7(1795)	象牙	
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木	
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代後期	象牙	
龍水	石見根付 牛	江戸時代後期	木	
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	
塩津 親次	団扇虫香合	大正15(1926)	彫金	島根県立美術館
塩津 正寿	切炭香合	昭和	彫金	島根県立美術館
塩津 正寿	竹の子香合	昭和	彫金	島根県立美術館
三代 久雄	蛸型合子	昭和54(1979)	木	島根県立美術館
三代 久雄	栗型合子	昭和54(1979)	金	島根県立美術館
長岡 空味	楽山焼 兜巾茄子写香合	昭和	陶土、染付	島根県立美術館
初代 勝重木庵光英	富士薩埵清見三保図時絵印籠	江戸時代後期	木、漆	島根県立美術館
中村松間齋	猛禽図(鷹に猿)高時絵印籠	江戸時代後期	木、漆	
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1920-21	鍛金、銀	
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919頃	象牙(刻彫)	
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916	象牙、銀	
澄川 喜一	To The Sky	平成18(2006)	ステンレス	個人蔵

展示室B ほとけさまのファッション

会 期：平成19年2月28日(水)～4月16日(月)

内 容：ほとけさまを立体的に表現した仏像は、作られた時代や地域あるいは仏像の種類ごとに異なった服装をしている。これは、作られた時代や地域の好みが反映されたり、その仏像独自の決まりにそって作られているからである。仏像の作られた時代や地域を判断するのに、着ている服装を見ることは不可欠である。今回の展覧会は、仏像をファッションという面から注目し、石見地方の寺院、博物館、個人の協力を得て、国内外の仏像を展示した。

出品リスト

作家名	作品名	制作年代	所蔵
不詳	木造薬師如来坐像	鎌倉時代	益田市・萬福寺
不詳	銅造釈迦誕生仏立像	白鳳時代	浜田市教育委員会
不詳	銅造釈迦尼仏像	19世紀	浜田市金城民俗資料館
不詳	銅造ジャンバラ神像	19世紀	浜田市金城民俗資料館
不詳	銅造ミラレバー聖人像	19世紀	浜田市金城民俗資料館
不詳	木造仏手(益田市浜寄遺跡出土)	平安時代	島根県教育委員会
不詳	木造薬師如来坐像	江戸時代	個人蔵
不詳	木造薬師如来坐像	鎌倉時代	個人蔵
不詳	銅造如来形坐像	高麗時代	個人蔵

展示室C オートクチュールの世界

会 期：平成18年5月13日(土)～8月20日(日)

内 容：第2次大戦後、バリのモードは世界の女性を魅了したが、なかでもオートクチュールのドレスは憧れの対象となった。今回はディオールやクレージュ、そして本県出身の森英恵のオートクチュールのドレスなどにあわせファッション写真も紹介した。展示に際しては、山口県立大学の学生が実習を行った。

出品リスト

作家名	作品名	制作年	材質	所蔵
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946	黒の絹ファイユ地にホースヘアー、銀のスパンコール、人造宝石の刺繍。	
ニナ・リッチ	イブニングドレス	1948	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュールネットの下着付き。	
クリスチャン・ディオール	ディ・ドレス	1949	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。	
チャールズ・ジェームス	ディナードレス[スパイラルドレス]	1951	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。	
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954	アイボリーの絹ファイユのストラップレスドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。	
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアーを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。	
クリスチャン・ディオール	カクテルドレス	1956	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。	
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957	黒のシャンティイレースの「ヘビードールドレス」。黒の絹のスリッドレス。	
アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。	
クリスチャン・ディオール/マルク・ポアン	ディナー・ドレス	1961	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーブ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。	
森 英恵	カフタン、ドレス	1960代後半～1970代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール付。	
森 英恵	イブニング・ドレス	1981	黒い絹クレープのワンピースドレス、絹サテンとビーズのアップリケ	
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947	ゼラチン・シルバー・プリント	
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947	ゼラチン・シルバー・プリント	
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	
リチャード・アヴェドン	ドヴィアと象	1955	ゼラチン・シルバー・プリント	
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	
ウィリアム・クライン	煙+ペール	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	
メルヴィン・ソコルスキー	デルボーに捧ぐ	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	

コレクション展

展示室C デュフィとアール・デコ

会 期：平成18年8月26日(土)～11月5日(日)

内 容：テキスタイル・デザインの分野でも活躍したフランスのラウル・デュフィ。デュフィの油彩画とともに彼がデザインしたアール・デコ期のテキスタイルを展示した。

出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラウル・デュフィ	ダンス	1910頃	紙、木版	
2	ラウル・デュフィ	狩猟	1910頃	紙、木版	
3	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「幾何学模様」	1912	シルク	
4	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「ペリカン」	1912-13	綿、プリント	
5	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「ダンス」	1914	麻布	
6	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「たちあおい」	1918	シルク、プリント	
7	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「アラム」	1919	麻布、プリント	
8	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「ジャングル」	1919	シルク、織り	
9	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「花・水浴の女・船・貝殻」	1924頃	モスリン	
10	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「海馬・鯨・貝殻」	1924	サテン・クレープ・織り ポール・ ポワレのためのデザイン	
11	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 「ドーヴィルまたはレガッタ」	1925頃	シルク、プリント	
12	ラウル・デュフィ	水上の祭	1920-22頃	カンヴァス、油彩	
13	ポール・ポワレ	デイ・ドレス	1925	グログラン・シルク地に海辺のシーンを プリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。	
14	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「幾何学模様」	1912	紙にグアッシュでテキスタイルと同デ ザイン	
15	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「ダンス」	1914	紙にテキスタイルと同デザインの黒 色プリント	
16	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「スケートをする人々」		紙、レリーフ・プリント(1954年のリ プリント用)	
17	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「堇の花」		紙、レリーフ・プリント	
18	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「蝶々と花」		紙、グアッシュ	
19	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「鳥、異国の果物と花」		紙、レリーフ・プリント	
20	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「菊」		紙、グアッシュ	
21	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「チャーリー・チャップリン」	1920頃	紙、レリーフ・プリント	
22	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「ボントン」	1920	紙、レリーフ・プリント	
23	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「ボントン」	1920	紙、レリーフ・プリント	
24	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「ばら」		紙、レリーフ・プリント	
25	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「花の種蒔き」		紙、レリーフ・プリント	
26	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「マーガレット、赤いバラ、谷の百合」		紙、レリーフ・プリント	
27	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「真珠とロゼット」		紙、グアッシュ	
28	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「花とアラベスク模様」		紙、レリーフ・プリント	
29	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「パステル色の花」		紙、レリーフ・プリント	
30	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「蝶々」		紙、グアッシュ	
31	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「多色の雪片」		紙、グアッシュ	
32	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「柵」		紙、レリーフ・プリント	
33	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・ デザイン「網目」		紙、レリーフ・プリント	

34	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 3. 1923-1924年 トリスタン・ツァラがガスで動く心臓より	1925	紙、ポシヨワール	
35	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 4. 1924年 4枚生地のためのデザイン	1925	紙、ポシヨワール	
36	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 10. 1924年 テキスタイル・デザイン	1925	紙、ポシヨワール	
37	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 16. 1923年	1925	紙、ポシヨワール	
38	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 18. 1923-1924年 スポーツ・ファッション・デザイン	1925	紙、ポシヨワール	
39	ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』 19. 1924年 テキスタイル・デザイン	1925	紙、ポシヨワール	
40	ジャン=エミール・ラブルール	マリー・ローランサンの肖像	1914	紙、木版	
41	ジャン=エミール・ラブルール	ビュット・ショーモン公園風景	1921	紙	

コレクション展

展示室C 現代美術入門

会 期：平成18年12月3日(日)～平成19年1月21日(日)

内 容：様々な表現が試みられている現代の美術。今回は、島根県所蔵作品の中から、抽象的な作風の日本の戦後の美術を取り上げ紹介した。

出品リスト

	作家名	作品名	シリーズ名	制作年	技法、材質	所蔵先
1	小泉 清	海		昭和29(1954)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
2	香月 泰男	冬の川(東)		昭和38(1963)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
3	齋藤 義重	作品6		昭和39(1964)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
4	山口 長男	劃一赤		昭和43(1968)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
5	菅井 汲	青のマッス		昭和37(1962)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
6	菅井 汲	黒のマッス		昭和39(1964)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
7	菅井 汲	青の太陽		昭和40(1965)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
8	菅井 汲	大都会の夜		昭和41(1966)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
9	菅井 汲	バラ色		昭和42(1967)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
10	菅井 汲	森		昭和48(1971)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
11	李 禹煥	From Line		昭和50(1975)	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
12	李 禹煥	項A(場所と位置1)		昭和45(1970)	ステンシル、紙	島根県立美術館
13	李 禹煥	題不詳		昭和45(1970)	ステンシル、紙	島根県立美術館
14	李 禹煥	項(丸)		昭和45(1970)	ステンシル、紙	島根県立美術館
15	李 禹煥	項(線)		昭和45(1970)	ステンシル、紙	島根県立美術館
16	李 禹煥	項(リー)		昭和45(1970)	ステンシル、紙	島根県立美術館
17	李 禹煥	関係項一位置		昭和46(1971)	ステンシル、紙	島根県立美術館
18	李 禹煥	関係項一位置		昭和46(1971)	ステンシル、紙	島根県立美術館
19	李 禹煥	筆より 5		昭和48(1973)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
20	李 禹煥	筆より 6		昭和48(1973)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
21	李 禹煥	項 1		昭和49(1974)	木版画、紙	島根県立美術館
22	李 禹煥	項 2		昭和49(1974)	木版画、紙	島根県立美術館
23	李 禹煥	項 3		昭和49(1974)	木版画、紙	島根県立美術館
24	李 禹煥	点より1	石版画集「点より 線より」	昭和52(1977)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
25	李 禹煥	点より2	石版画集「点より 線より」	昭和52(1977)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
26	李 禹煥	点より3	石版画集「点より 線より」	昭和52(1977)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
27	李 禹煥	点より4	石版画集「点より 線より」	昭和52(1977)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
28	李 禹煥	線より1	石版画集「点より 線より」	昭和52(1977)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
29	李 禹煥	線より2	石版画集「点より 線より」	昭和52(1977)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
30	李 禹煥	線より3	石版画集「点より 線より」	昭和52(1977)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
31	李 禹煥	線より4	石版画集「点より 線より」	昭和52(1977)	リトグラフ、紙	島根県立美術館
32	杉本 博	カリブ海、ジャマイカ	SEASCAPES	平成2(1990)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	島根県立美術館
33	杉本 博	日本海、隠岐	SEASCAPES	平成2(1990)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	島根県立美術館
34	杉本 博	アイリッシュ海、マン島	SEASCAPES	平成2(1990)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	島根県立美術館
35	杉本 博	ティレニア海、ボジターノ	SEASCAPES	平成2(1990)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	島根県立美術館
36	杉本 博	イオニア海、サンタ・チェザレア	SEASCAPES	平成2(1990)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	島根県立美術館
37	杉本 博	イオニア海、サンタ・チェザレア	SEASCAPES	平成2(1990)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	島根県立美術館
38	杉本 博	地中海、クレタ島	SEASCAPES	平成2(1990)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	島根県立美術館
39	杉本 博	エーゲ海、ピリオン	SEASCAPES	平成2(1990)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	島根県立美術館
40	杉本 博	南太平洋、テアライ	SEASCAPES	平成2(1990)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	島根県立美術館
41	杉本 博	イギリス海峡、フェカン	SEASCAPES	平成2(1990)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	島根県立美術館
42	岩本 拓郎	無題		昭和54(1979)	アクリル絵具、シナベニヤ、角材	
43	岩本 拓郎	無題		昭和50(1975)	銅版画、紙	作家蔵
44	岩本 拓郎	無題		昭和50(1975)	銅版画、紙	作家蔵
45	岩本 拓郎	無題		昭和50(1975)	銅版画、紙	作家蔵
46	岩本 拓郎	無題		昭和50(1975)	銅版画、紙	作家蔵



クリスマス・コンサート

教育普及活動

クリスマスとグラントワ

昨年に引き続き、子供向けにクリスマスのイベントを行った。子供たちに自由に楽器を演奏してもらい、それを録音したものをコンピュータで編集しコンサートで演奏した。また講師のアキツユコさんの制作した映像を12月末まで美術館ロビーで上映した。

クリスマス・ワークショップ

「クリスマス・ソングをつくろう」

講師：アキツユコ(作曲家)

日時：平成18年12月10日 10:00～11:00

参加者：16人

クリスマス・コンサート(いつでもどこでも音楽祭)

演奏：アキツユコ(歌、オルガン)、松井一平(ギター)

日時：平成18年12月10日 14:00～15:00

参加者：40人



森英恵講演会

【開館特別事業】

講演会：「森英恵 手で創る、を語る」

内容：島根県西部、吉賀町出身の森英恵の講演会を実施。森は手仕事の成果としての衣装、そして衣装の創造の過程について公演を行った。あわせて石見美術館が収蔵する衣装についても、実物を見ながら、紹介した。

日時：平成18年7月27日 18:00～20:00

会場：大ホール

参加者：1100人

講師：森英恵

1951年新宿にスタジオを設立。日本映画全盛期に数多くの衣裳デザインを担当。1965年ニューヨークで初の海外コレクションを発表、「East meets West」と絶賛される。1977年パリにメゾンオープン、オートクチュール組合に属する唯一の東洋人として、国際的な活動を展開した。現在は「森英恵ファッション文化財団」を設立し、若手の育成にも力を注ぐ。東京女子大学卒業、島根県吉賀町(旧六日市町)出身。

【コレクション展関連イベント】

いつでもどこでも音楽会

インド音楽特集 「インド音楽の午後、インド音楽の夕べ」

内容：コレクション展「ほとけさまのファッション」開催にあわせ、新進気鋭のインド古典音楽奏者による演奏会を実施した。あわせてインド古典音楽についての簡単なレクチャーも行った。

なお、この演奏会はグラントワで不定期に開催している「いつでもどこでも音楽会」のプログラムのひとつとして位置づけPRを行った。

日時：平成19年3月31日 14:00、17:30 (2回公演)

会場：美術館ロビー

参加者：合計60人

出演：

寺原太郎：バーンスリー(インドの竹の横笛)

1991年、インドの人間国宝、Pt.ハリプラサード・チョウラシアの来日公演に衝撃を受け、翌年渡印、ハリプラサード師のレッスンを受ける。現在は日本全国で精力的にインド古典音楽の演奏活動を行う。05年、CD『Air』(NADA RECORD)では、世界的なタブラ奏者Pt.アニンド・チャタルジーと共演。

U-zhaan：タブラ(2個一対のインドの打楽器)

96年よりタブラを始める。98年、世界的なタブラ奏者Pt.アニンド・チャタルジー氏に師事。2002年に発表された「jun ray song chang」はイギリスleafのベストセリングCDとなり、WIRE誌のベスト4アルバムに選出される。最新CD「みんなのジュンレイ」には小泉今日子、ハナレグミらも参加。

栗原 崇：シタール(インドの弦楽器)

1999年よりシタールを中村仁氏に、2001年よりモニラル・ナグ氏に師事。2004年よりニューデリーに現存する最も伝統的な古典音楽を学ぶ。2006年初のソロ・アルバムをリリース。

寺原百合子：タンブラー(通奏低音を奏でる弦楽器)



インド音楽の午後、インド音楽の夕べ

【出前講座】

当館では、学芸員による「出前講座」を開館前の平成15年度より実施している。今年度は計4回実施。

「サッカーユニホームと民族衣装」

サッカーのナショナルチームのユニホームと各国の国旗との共通点を確認し、さらにそれぞれの国の民族衣装についてスライドで紹介。その後、ユニホームのレプリカの試着。

ドイツでのサッカーワールドカップが開催されている時期に実施したため、児童たちはとりわけ強い関心をもって参加した。

日 時：平成18年6月29日

参加者：益田小学校6年生(60名)



ねんどであそぼう

「澄川喜一館長による出前講座 ねんどであそぼう」

彫刻家でもある当館館長の澄川が、地域の保育園児とともに、ねんどを使った出前講座を実施した。

日 時：平成18年7月27日

参加者：吉田保育所 園児(40名)

「水墨画体験」

雪舟をはじめとする水墨画の作品についてスライドで鑑賞し、その後水墨画に挑戦した。

日 時：平成18年10月29日

参加者：益田市立安田小学校6年生(52名)、および保護者

「水墨画体験」

日 時：平成19年3月8日

参加者：津和野町立左鏡小学校高学年(10名)

【博物館実習】

日 時：平成18年8月7日～11日

参加者：山口県立大学学生・大阪成蹊大学学生(2名)

【その他実習】

山口県立大学国際文化学部の実習を受け入れた。(学生5名、教員2名)

日 時：平成18年5月10日

【関連記事】

5月11日 BSS「テレポート山陰」

中国新聞 島根

5月13日 毎日新聞 島根

5月15日 山陰中央新報

5月14日 人欄紹介

5月23日 毎日新聞 山口 朝刊

ボランティア

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のグラントワ全体のボランティア会の組織は、劇場、イベント企画、美術館、発送、クリーンアップ、生け花、情報の7つの部門からなっている。そのうちの美術館ボランティアには、「ギャラリートークグループ」と「ワークショップグループ」のふたつがあり、それぞれ10数名のボランティアが活動している。

4月には、この二つのボランティアグループに対し説明会を行った。

【ギャラリートークボランティア】

当館の「コレクション展」でのトークを開始するため、4月以降、コレクションにかんする講座を行った。8月には、ボランティアによるギャラリートークが開始された。

【トークボランティア養成講座】

- 4月27日 「美術館とボランティアについて」 講師：藤間寛
- 6月 1日 コレクション展「オートクチュールの世界」 講師：南目美輝
- 6月15日 コレクション展「ファッション雑誌の可能性」 講師：南目美輝
- 7月 6日 コレクション展「島根の美術」「デュフィとアール・デコ」 講師：河野克彦
- 10月28日 コレクション展「雲谷派の画家たち」 講師：川西由里
- 11月25日 コレクション展「花鳥と山水」 講師：川西由里
- 2月15日 コレクション展「森村泰昌 美に至る病ー女優になった私」 講師：南目美輝

【ワークショップボランティア】

企画展関連のワークショップから学校での出前講座まで、さまざまな企画についてボランティアはアシスタントとして事業に関わっている。

【ワークショップ補助】

- 5月13日 企画展「ウィーン展」ワークショップ 「きってはって絵をつくろう!!」
- 6月29日 益田市立吉田小学校にて出前講座「サッカーユニホームのお話」
- 10月 7日 企画展「スポーツウェアの革命」展カフェトーク
- 11月15日～17日 まことクラヴダンス公演関連ワークショップ

【その他】

- 7月27日 講演会「森英恵 手で創る、を語る」 会場整理等

連携事業

1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館(以上7館)

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載(休サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品(7館グッズ詰め合わせ)贈呈(金情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる

2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、萩博物館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館(以上6館)

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設(4施設)

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館(コレクション展・企画展)、浜田市立石正美術館、
・浜田市世界こども美術館(館主催の展示のみ)

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,000円

○加入施設(5施設)

島根県立石見美術館(コレクション展のみ)、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売(使用開始)の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効

4. 割引制度

下記に掲げる乗車券等、観覧券を提示した場合、割引制度が利用可能。

- ① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券
- ② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券
- ③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券
- ④ 大田市以東島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券
- ⑤ 萩・石見空港発着の航空券
- ⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券(半券)
- ⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券(半券)
- ⑧ 島根県立美術館の観覧券(半券)
- ⑨ 島根県いわみ芸術劇場で開催される催し物(当日のみ有効)の有料入場券(半券)
- ⑩ 島根県立美術館が発行する年間パスポート(期限内)

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)	形状
不詳	舞踊図屏風	江戸初期	17世紀	紙本金地著色	149.6×170.0	二曲一隻
不詳	人麿図屏風	江戸時代	17～18世紀頃	紙本金地著色	145.0×355.3	六曲一隻
不詳	遊女柳橋扇面流図屏風	江戸前期	17世紀	紙本著色	108.6×343.0	六曲一隻
池田 蕉園	小松引	大正前期		絹本著色	139.4×51.2	軸
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	大正8	1919	絹本著色	右193.7×394.4 左193.9×396.0	六曲一双
今尾 景年	花鳥図屏風	明治～大正		絹本著色	各156.0×349.5	六曲一双
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	明治33	1900	絹本著色	各154.9×355.4	六曲一双
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和前期		絹本著色	143.8×50.8	軸
雲谷派	耕作図屏風	桃山～江戸初期		紙本墨画	152.2×346.2	六曲一隻
雲谷 等益	四季山水図屏風	元和年間	1615～1624	紙本墨画淡彩	各85.1×354.0	八曲一双
雲谷 等益	山水図屏風	寛永中期	1630年代	紙本墨画淡彩	各156.5×359.4	六曲一双
雲谷 等顔	山水人物花鳥図押絵貼屏風	江戸初期	1600～1618頃	紙本墨画淡彩	各紙121.8×53.3	六曲一双、押絵貼
雲谷 等的	山水図	江戸前期		紙本墨画	30.9×57.9	軸
雲谷 等的	観音山水図	江戸前期		絹本墨画淡彩	各103.3×34.5	軸、三幅対
榎本 千花俊	揚揚戲	昭和8	1933	絹本著色	221.2×173.6	額
榎本 千花俊	池畔春興	昭和7	1932	絹本著色	261.0×207.3	額
榎本 千花俊	口紅を描く	昭和10	1935	絹本著色	139×57	軸
榎本 千花俊	春雪	昭和前期		絹本著色	131×42	軸
岡野 洞山	竹林七賢、商山四皓	嘉永元年	1848	紙本墨画淡彩	各159.4×363.0	六曲一双
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代		紙本墨画	各106.5×50.6	軸、双幅
柿内 青葉	池	昭和8	1933	絹本著色	128×42	軸
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸後期	19世紀初	絹本墨画	34.2×64.7	軸
狩野 松栄	益田元祥像	天正10～20頃	1582～1592頃	絹本著色	108.4×51.7	軸
鐔木 清方	花見幕	昭和初期		絹本著色	141.2×50.6	軸
川村 曼舟	牧牛図屏風	大正時代		絹本著色	152.0×356.0	六曲一隻
菊池 華秋	雪晴	昭和13	1938	絹本著色	189.8×202.2	額
菊池 隆志	室内	昭和9	1934	紙本著色	146.4×164.4	額
菊池 隆志	初夏遊園	昭和3	1928	絹本著色	206.0×112.8	額
北野 以悦	春	昭和6	1931	絹本着色	191.0×142.0	額
北野 恒富	むすめ	大正14年	1925	紙本着色	190.5×89.0	額
北野 恒富	狂女	大正～昭和初期		絹本着色	130.0×50.0	軸
啓孫	騎驢人物図	室町後期		紙本墨画	91.0×31.0	軸
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代		紙本墨画	95.0×39.2	軸
小早川 清	旗亭涼宵	昭和8	1933	絹本著色	197.0×113.0	額
小早川 清	宵	昭和11	1936	絹本著色	216.8×111.7	額
小堀 鞆音	舞楽図屏風	明治末～昭和初期		紙本金地著色	各162.3×358.2	六曲一双
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期		紙本墨画	31.0×50.6	軸
島崎 柳塙	汐風	明治後期		絹本著色	109.0×48.6	軸
周恵	達磨図	室町後期		紙本墨画	51.7×28.0	軸
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸中期		紙本墨画	134.8×52.2	軸
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町後期		紙本墨画	51.0×33.0	軸
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸前期		紙本墨画	各118.0×51.8	軸、双幅
曾田 友栢	達磨図	桃山～江戸初期		紙本墨画	27.1×23.6	軸
尊俊	竜虎図	室町時代後期		紙本墨画	各86.9×43.0	軸、双幅
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	明治22	1889	紙本著色	各155.0×360.0	六曲一双
田中 頼章	白雲紅樹	昭和9	1934	絹本著色	226.0×174.5	額
谷 文晁	滝図	文政11	1828	絹本著色	各96.7×35.4	軸、双幅
寺崎 広業	竹裡館観月	明治後期～大正初期		絹本着色	139.6×70.8	軸
等碩	牧童図	室町後期		紙本墨画淡彩	26.3×33.7	軸
富岡 鉄斎	江山招隠図	明治40	1907	絹本著色	111.0×42.6	軸
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸後期	19世紀後半	絹本着色	112.8×52.6	軸
中林 竹洞	湖山清遠図	天保5～8頃	1834～1837	絹本墨画	144.2×53.5	軸
中林 竹洞	秋舟鴛鴦図	天保2	1831	絹本着色	128.7×42.4	軸
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	昭和3	1928	紙本著色	各154.4×381.0	六曲一双
西 晴雲	四季花木図	大正末期	1920～1925頃	紙本著色	各167.8×47.3	軸、四幅対
橋本 明治	莊園	昭和9	1934	絹本著色	233.6×142.2	額
橋本 明治	蓮を聴く	昭和11	1936	絹本著色	156.8×221.8	額
長谷川派	武蔵野図屏風	桃山～江戸初期		紙本金地著色	各165.8×367.2	六曲一双
平福 百穂	七面鳥・鴨	大正3	1914	紙本著色	各124.8×59.1	軸、双幅

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)	形状
広田 多津	ふたり	昭和13	1938	紙本著色	204.6×135.3	額
不二木 阿古	爽朝	昭和16	1941	絹本著色	129×41	軸
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治前期		絹本著色	102.0×45.2	額
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治末～大正時代		絹本著色	125×71	軸
松本 楓湖	八岐大蛇図	明治42		絹本著色	150×70	軸
円山 応挙	柿本人麿像	明和2頃	1765頃	紙本墨画	93.8×28.0	軸
武藤 嘉門	ショーウインドウ	昭和12	1937	紙本著色	242.7×546.0	額
山田 喜作	真夏の港	昭和7	1932	絹本著色	212.3×197.8	額
山田 喜作	湘南初夏	昭和6	1931	絹本著色	245×174.5	額
山田 道安	芦雁図	室町末～桃山初期		紙本墨画	各86.6×40.4	軸、双幅
山本 琴谷	年中行事図屏風	江戸末期		紙本着色	各139.0×304.2	六曲一双、押絵貼
山本 琴谷	瀧見観音図	江戸末期		紙本墨画淡彩	106.0×29.6	軸
山本 琴谷	月下横臥図	万延元	1860	絹本淡彩	159.0×50.7	軸
山本 梅逸	山水図	天保4	1833	紙本墨画	127.6×57.0	軸
横山 大観	水温む	昭和29	1954	紙本墨画	70.0×92.2	額

油彩画

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25	1950	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	昭和53	1978	アクリル、シナベニヤ・角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	昭和54	1979	アクリル、シナベニヤ・角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	明治27～30頃	1894～97頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	大正4	1915	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	昭和53	1973	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	昭和25	1950	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	大正12	1923	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	大正2	1914	油彩、カンヴァス	76×40
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正～昭和初期		油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	大正9	1920	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	明治24	1891	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	明治22	1889	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	大正14～昭和3頃	1925～28頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	昭和5	1930	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	昭和22	1947	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
東郷 青児	婦人像	昭和5～10頃	1930～35頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
中川 八郎	初秋の夕	大正8	1919	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	大正10	1921	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	明治36～38頃	1903～05頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	明治末～大正初期	1900～20頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	明治20～31頃	1887～98頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	明治41～42頃	1908～09頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	大正12	1923	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	昭和14	1939	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	大正時代	1913～25頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	大正11	1922	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	大正時代	1912～25頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	大正8	1920	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	大正時代	1912～25頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	昭和6	1931	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	昭和6	1931	油彩、カンヴァス	100×81
山崎 修二	初冬	昭和11	1936	油彩、カンヴァス	130×161
山崎 修二	夏	昭和11	1936	油彩、カンヴァス	73×91
山崎 修二	残雪のある庭	昭和13	1938	油彩、カンヴァス	111×144
山崎 修二	髪	昭和14	1939	油彩、カンヴァス	131×97
山崎 修二	風景(仮題)	昭和16	1941	油彩、カンヴァス	73×91
山崎 修二	窓辺の静物	昭和25	1950	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	昭和28	1953	油彩、カンヴァス	91×73
山崎 修二	緑の静物	昭和30	1955	油彩、カンヴァス	130×80
山崎 修二	港通りの家	平成10	1998	油彩、カンヴァス	53×66

所蔵作品一覧

油彩画

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
山本 鼎	筍	昭和13	1938	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	大正前期	1911～20頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	大正3	1914	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	大正7	1918	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ラファエル・コラン	若い女性の肖像		1889	油彩、カンヴァス	65.0×54.0
ラウル・デュフィ	水上の祭		1920～22頃	油彩、カンヴァス	
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル		1868	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性		19世末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2

版画

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	木場	大正3	1914	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	大正14	1925	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター		1919	木版、紙	70.0×25.5
永瀬 義郎	折り	昭和31	1956	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	昭和38	1963	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	昭和50	1975	リトグラフ、紙	80.3×65.0
宮 芳平	自画像	昭和9	1934	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	昭和9	1934	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	昭和9	1934	エッチング、紙	9.1×2
宮 芳平	八ヶ嶽	昭和9	1934	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	昭和9	1934	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	昭和8	1933	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	昭和10	1935	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	昭和10	1935	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	昭和10	1935	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	昭和10	1935	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	昭和10	1935	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	昭和10	1935	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	昭和10	1935頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	昭和10		エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	昭和10頃	1935頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	昭和10	1935	エッチング、紙	8.8×12.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』		1912～25	冊子69冊、ファクションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ド・ジュールダウイ』		1912～22	冊子7冊、ファクションプレート84枚	
	『ジュルナル・ダム・エ・デ・モード』		1912～14	冊子80冊、ファクションプレート188枚	

所蔵作品一覧

版画

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
ポール・イレーブ	『ポール・ボフレのドレス』		1908	ファッションプレート10枚	
ジョルジュ・ルパージュ	『ポール・ボフレの作品』		1911	ファッションプレート12枚、エキストラプレート3枚	
ウイン工房(フーゲル、リクス他)	「女性の生活」(20点組)		1916	木版、一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ラウル・デュフィ	狩猟		1910頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス		1910頃	木版、紙	31.2×31.3
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァイン ベルガー	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシエク	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒェ	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 /15」(20点組のうち)		1914～15	木版、一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ジャンーエミール・ラブレール	マリー・ローランソンの肖像		1914	木版、紙	25.0×22.0
ジャンーエミール・ラブレール	ビュット・ショームン公園風景		1921	エッチング、紙	20.0×23.0

水彩画

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	明治26～39頃	1893～1906頃	水彩、紙	62.0×94
大下 藤次郎	下駄屋の店先	明治25	1892	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	明治25	1892	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	明治25	1892	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	明治25	1892	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	明治25	1892	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	明治25	1892	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	明治25	1892	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	明治26	1893	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	明治26	1893	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	明治26	1893	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	明治26	1893	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	明治26	1893	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	明治26	1893	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	明治26	1893	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	明治28	1895	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	明治28	1895	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	明治28	1895	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・28年10月13日	明治28	1895	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・28年10月17日	明治28	1895	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・28年10月20日	明治28	1895	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	明治28	1895	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	明治28	1895	水彩、紙	13.9×24.1

所蔵作品一覧

水彩画

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	相州塩川瀑	明治28	1895	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	明治28	1895	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	明治28	1895	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	富山	明治28	1895	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	明治29	1896	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	明治29	1896	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	明治29	1896	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	明治29	1896	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	明治29	1896	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	明治29	1896	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	明治29	1896	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	五重塔	明治29	1896	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	明治29	1896	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	三門	明治29	1896	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	明治29	1896	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	明治29	1896	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	明治29	1896	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	明治29	1896	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	明治29～30頃	1896～1897頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	明治30	1897	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	明治30	1897	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	明治30	1897	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	明治30	1897	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	明治30	1897	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	明治30	1897	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷	明治30	1897	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	明治30	1897	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	明治30	1897	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	明治30	1897	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	明治30	1897	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	明治30	1897	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	明治30	1897	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	明治30	1897	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	明治30	1897	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	明治30	1897	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	明治31	1898	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	明治31	1898	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	明治31	1898	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	明治31	1898	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、ニュー・サウス・ウエールズ	明治31	1898	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	明治31	1898	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	明治31	1898	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、クイーンズランド	明治31	1898	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、クイーンズランド	明治31	1898	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、メルボルン	明治31	1898	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	ブリスバーン河	明治31	1898	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ブリスバーン河	明治31	1898	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	明治31	1898	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	明治31	1898	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	明治31	1898	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	明治31	1898	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	明治32	1899	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	明治32	1899	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	明治32	1899	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年9月13日・正午・南	明治32	1899	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・西方午後5時	明治32	1899	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年11月21日朝 東)	明治33	1900	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年12月5日 西南方)	明治33	1900	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	明治36	1903	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	22.1×33.6

所蔵作品一覧

水彩画

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	ポピー	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	明治36～44頃	1903～1911頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	明治37	1904	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	明治37	1904	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	明治37	1904	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	明治37	1904	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	明治37	1904	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	明治37	1904	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	明治37	1904	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	明治37	1904	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	明治37	1904	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	明治37	1904	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	明治37	1904	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	明治38	1905	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	明治38	1905	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	明治39	1906	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	明治39	1906	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	明治39	1906	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	明治39	1906	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	明治39頃	1906頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	明治40	1907	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	明治40	1907	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	明治40	1907	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	明治40	1907	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	明治40	1907	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	明治40	1907	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	明治40	1907	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	明治40頃	1907頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	明治40頃	1907頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	明治40頃	1907頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	明治40頃	1907頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	明治40頃	1907頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	明治40年代	1907～1911頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	明治40年代	1907～1911頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	明治40年代	1907～1911頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	明治40年代	1907～1911頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	明治40年代	1907～1911頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	明治40年代	1907～1911頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	明治40年代	1907～1911頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	明治41	1908	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	明治41	1908	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	明治41	1908	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	明治41	1908	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	明治41	1908	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	明治42	1909	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	明治42	1909	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	明治42	1909	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	明治42	1909	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	明治43	1910	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	明治43	1910	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	明治43頃	1910頃	水彩、紙	25.9×36.6

所蔵作品一覽

水彩画

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	明治44	1911	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	明治44	1911	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	明治29	1896	水彩、紙	9.1×14.4
草間 彌生	(18C)	昭和33	1958	グアッシュ、パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	昭和31	1956	グアッシュ、パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	昭和29	1954	グアッシュ、パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	昭和32	1957	グアッシュ、パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	昭和32	1957	グアッシュ、パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	昭和31	1956	グアッシュ、パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	昭和29	1954	グアッシュ、パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	昭和28	1953	グアッシュ、パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	昭和28	1953	グアッシュ、パステル、紙	32.5×30.7

所蔵作品一覧

水彩画

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	The Heat	昭和27	1952	グアッシュ、パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	昭和50	1975	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	大正～昭和初期	1912～29頃	水彩、紙	15.7×21.7
三宅 克己	農村風景	明治29	1896	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	昭和初期	1926～1945	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)		1916	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)		1916	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	馬	明治25	1892	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	明治25	1892	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	明治26	1893	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	明治26	1893	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	明治26	1893	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	明治26	1893	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	明治26	1893	鉛筆、水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	明治27	1894	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	明治28	1895	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	明治28	1895	鉛筆、水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の□居	明治29	1896	鉛筆、水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	明治30	1897	鉛筆、水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	明治31	1898	鉛筆、水彩、紙	9.3×16.6, 9.6×16.8, 9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	明治31	1898	鉛筆、水彩、紙	9.2×17.3, 9.3×15.2, 9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	明治31	1898	鉛筆、水彩、紙	9.4×16.8, 9.4×17.2, 9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	明治31	1898	鉛筆、水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	明治31	1898	鉛筆、水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	明治31	1898	鉛筆、水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	明治31	1898	鉛筆、水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	明治31	1898	鉛筆、水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	明治31	1898	鉛筆、水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	明治31	1898	鉛筆、水彩、紙	
大下 藤次郎	碓永川	明治31	1898	鉛筆、水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	明治31	1898	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	渋谷	不詳	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	不詳	鉛筆、水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	不詳	鉛筆、水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	不詳	鉛筆、水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	鎌倉	不詳	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	二日市	不詳	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	明治25～30頃	1892～97頃	鉛筆、水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	大正8	1919	木炭、パステル、紙	37.8×30.5
宮 芳平	樹木	昭和29	1896	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	昭和8	1933	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はぜのある風景	昭和3	1928	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	昭和7	1932	鉛筆、紙	25.2×18.4

所蔵作品一覧

写真

作家名	作品名	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
森村 泰昌	美に至る病 女優になった私(48点組)	1996	イルフォクローム、アクリル加工	120.0×95.0
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955	ゼラチン・シルバー・プリント	58.5×47.3
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968	ゼラチン・シルバー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨンカーズ	1962	ゼラチン・シルバー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシ ティ、ニュージャージー	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71	ゼラチン・シルバー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71	ゼラチン・シルバー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967	ゼラチン・シルバー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969	ゼラチン・シルバー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962	ゼラチン・シルバー・プリント	36.4×37.3
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ベール	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965	ゼラチン・シルバー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイクン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイクン	F. A. ワイマン夫人	1931	ゼラチン・シルバー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイクン	無題	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3
メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963	ゼラチン・シルバー・プリント	50.8×40.6
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイ ラー、『ヴォーグ』より	1935	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	25.8×20.7
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニコ・テイラード	1940	ゼラチン・シルバー・プリント	26.1×32.8
ゲオルグ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イヴニング・ケープ	1938	ゼラチン・シルバー・プリント	22.0×28.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991	フレッソソ・プリント	60.0×60.0
アーヴィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.6
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バ ザー』1938年9月号	1938	ゼラチン・シルバー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・ブロコウ 『ハーバース・バザー』 1933年12月号	1933	ゼラチン・シルバー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936	ゼラチン・シルバー・プリント	27.9×35.6
パロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920	ゼラチン・シルバー・プリント	24.1×18.4
パロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925	ゼラチン・シルバー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990	ゼラチン・シルバー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990	ゼラチン・シルバー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990	ゼラチン・シルバー・プリント	30.5×20.4
ルトランジェ	題不詳	1900頃	ゼラチン・シルバー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900頃	ゼラチン・シルバー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900頃	ゼラチン・シルバー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900頃	ゼラチン・シルバー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900頃	ゼラチン・シルバー・プリント	19.2×12.9

所蔵作品一覧

工芸

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代		象牙	長9.9
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期		猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	寛政4年	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期		木	長6.1
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期		陶器	高7.9、口径11.0、高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	明治時代		陶器	高10.0、口径19.5、底径10.3
龍水	石見根付 牛	江戸時代		木	長5.6
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期		猪牙	長8.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期		高蒔絵	高7.2、幅6.7、奥行2.8
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ		1912デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント		1919頃	象牙(刻彫)	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ		1916	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱		1920-21	鍛金・銀	高5.0、径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年(和暦)	制作年(西暦)	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	昭和51	1976	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	昭和51	1976	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	平成5～6	1993～94	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜(かぼちゃ)	平成10	1998	F.R.P(強化プラスチック)、塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
米原雲海	仙丹	明治43	1910	木彫	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年(西暦)	材質	サイズ(cm)
森 英恵	カフタン、ドレス	1960年代後半～1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。	
森 英恵	イヴニング・ドレス	1960年代後半～1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。	
森 英恵	イヴニング・コート、ショートドレス	1964	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。	
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプスーツとカフタン。絹サテンのベルト。	
森 英恵	イヴニング・コート、ドレス	1968	帯地風に仕立てた西陣織のイヴニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。	
森 英恵	イヴニング・ドレス「花の白いドレス」	1981	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアププリケ。	
森 英恵	イヴニング・ドレス	1981	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアププリケ。	
森 英恵	イヴニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。	
森 英恵	イヴニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。	
森 英恵	イヴニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス	
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグランスリーブ、プリーツスカート。	
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。	
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。	
ヴィヴィアン・ウエストウッド	「サロン」ショール付イヴニング・ドレス	1992	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。	

所蔵作品一覧

服飾

作家名	作品名	制作年(西暦)	材質	サイズ(cm)
ヴィヴィアン・ウエストウッド	「18世紀スタイル」 イヴニング・ドレス	1992	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。	
ヴィヴィアン・ウエストウッド	「リパティコレクション」 ジャケット、スーツ、パンツ、シャツ	1994	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。	
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ポールガウン	1897	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボティスとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。	
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916	さまざまな種類のブリュッセルレースを組み合わせたドレス	
ジルベルト・エイドリアン	デイ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。	
エルメス	水着	1940～50年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。	
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムパンツ。	
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。	
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967	ライム・グリーンとブルーのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。	
ルディ・ガンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンウールのボタン付きベルト。	
ルディ・ガンライヒ	水着「モノキニ」	1964	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。	
アリックス・グレ	イヴニング・ドレス	1958	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。	
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。	
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。	
アンドレ・クレージュ	イヴニング・ドレス	1970頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。	
アンドレ・クレージュ	デイ・アンサンブル	1965～67	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。	
イブ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～68	カクテルドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のバイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。	
イブ・サンローラン	ディナー・ドレス「Musique de Nuit」	1956	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグランスリーブス、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。	
イブ・サンローラン	イヴニング・スーツ	1967頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイヴニング・スーツ。	
クリスチャン・ディオール ／イブ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグランスリーブ。幅広い帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコルセットとガーター。スカートにはチュール地の3段のベチコート。	
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。	
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1927頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。	
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。	
エルザ・スカンパレリ	イヴニング・ドレス	1938	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダー・ドレス。	
エルザ・スカンパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。	
エルザ・スカンパレリ	イヴニング・ドレス	1939	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク（衿の形をしたアップリケ・ワーク）。肩にプラスチック・ジップ。	
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。	
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。	
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。	
クリスチャン・ディオール	ポールガウン	1954	アイボリーの絹ファイユのストラップレスドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。	

所蔵作品一覧

服飾

作家名	作品名	制作年(西暦)	材質	サイズ(cm)
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレスドレス。襟元にポー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。	
クリスチャン・ディオール	デイ・ドレス	1949	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。	
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953	バラのプリント地の絹シフォンのワンピース・ドレス。裏地はピンクの絹オガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコルセット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。	
クリスチャン・ディオール	コート	1955頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグランスリーブ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。	
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。	
ピエール・バルマン	イヴニング・ドレス	1955頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。	
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～51	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエツト。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。	
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。	
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946	黒の絹ファイユ地にホースヘア、銀のスパンコール、人造宝石の刺繍。	
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。	
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958	淡いグレーのモフレのコードレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。	
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957	黒のシャンティイレースの「ベビー・ドールドレス」。黒の絹のスリッパドレス。	
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。	
バーバラ・フラニッキー／ビバ	パンツ・スーツ	1970	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラードジャケット、ヒップ・ボーンフレアーパンツ。	
バーバラ・フラニッキー／ビバ	パンツ・スーツ	1970頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニット。	
クリスチャン・ディオール／マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オガンザ。七分丈スリーブ。左右が不均等なボレ口風ジャケット。	
クレア・マッカーディル	水着	1945頃	黒色と白色のストライプのジャージー	
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。	
スザンヌ・タルボット	イヴニング・コート	1925頃	黒い絹の罎型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。	
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912以降	深緑と錆赤の絹ベルベットにピンクと金色でステンシル・プリント。金でネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。	
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。	
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。	
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。	
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。	
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919頃	ビーズ。	172.0×1.6
ポール・ボワレ	イヴニング・ドレス	1913	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン地のシフォン。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスワングルで刺繍。裏地はライム・グリーン地の絹シフォン。	
ポール・ボワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。	

所蔵作品一覧

服飾

作家名	作品名	制作年(西暦)	材質	サイズ(cm)
ポール・ボワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911	アイボリー色のオーガンジー。ボディスとスカート裾に花卉の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。	
ポール・ボワレ	ドライブ用コート	1910頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。	
ポール・ボワレ	デイ・ドレス	1925	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。	
メンバーシェ	イヴニング・ドレス	1940	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグランスリーブ。	
パコ・ラバヌ	イヴニング・ドレス	1966	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。	
ジャンヌ・ランバン	イヴニング・ドレス	1928	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボディスとスカート上部に金銀のスパンコールなどによる刺繍。	
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアップリケワーク。バイアスカット。	
マリア・リカルツ	バッグ	1919	ビーズ・ワーク。	
ニナ・リッチ	イヴニング・ドレス	1948	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュールネットの下着付き。	
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り。	
リバティ商会	ティーガウン	1908	ブルーグレーのクレープ。茶がかかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。	
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。	
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。	
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はページュの絹ベルベット。	
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966頃	「キャンベル・スूप・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。	
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～20年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。	
作者不詳	女性用乗馬服	1888頃	ダーク・グリーン系のウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。	
作者不詳	女性用乗馬服	1890頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。	
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。	
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。	
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジョッパーズのパンツ。	
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900頃	紺色のウール。ジャケット、ブルーマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。	
作者不詳	水浴着	1905～10頃	濃紺のウール。上着、ブルーマー、スカート。	
作者不詳	水着	1920頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。	
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。	
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。	
作者不詳	テニス・ウェア	1926頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。	
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。	
作者不詳	ネックレス	1920頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。	
作者不詳	イヴニング用シューズ	1920頃	花のモチーフを銀糸をつかいブロード織り。	
作者不詳	海水浴用シューズ	1920頃	セージ・グリーン系のゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。	
作者不詳	ブレスレット	1930頃	銀	

所蔵作品一覧

テキスタイル

作家名	作品名	制作年(西暦)	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912-1928		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922-1930年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴァンダーバウム」	1911-16	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年(西暦)	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912-1928	水彩、紙	
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922-1930年代	水彩、紙	

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ポージェ』	1922～33	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

平成17年度 寄贈作品

番号	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法 (cm)
1	工芸	阿部 裕幸	根付 明暗	2005(平成17)	猪牙	長8.9 幅2.0
2	工芸	宍戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005(平成17)	猪牙	長6.0 幅2.1
3	工芸	高木 喜峰	根付 迷い道	2005(平成17)	猪牙	長6.0 幅1.8
4	工芸	前田 中	根付 番(つがい)	2005(平成17)	猪牙	長5.1 幅1.8
5	工芸	和地 一風	根付 月下の祈り	2005(平成17)	猪牙・ベッ甲・海松	長9.9 幅1.8

平成18年度 新収蔵作品

番号	分類	作家名	作品名	制作年	技法、材質、形状	寸法 (cm)
1	服飾	マリア・モチナ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブス、肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。	
2	服飾	ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。	
3	服飾	ポール・ポワレ	デイ・ドレス 「ブリトヌ」	1921	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディスの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。	
4	服飾	ポール・ポワレ	カフタン・コート 「イスファハン」	1908	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッセル飾り付き。	
5	服飾	マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダードレス。	
6	服飾	アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、 小物(カメラ)	1960年代後半 ～70年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボディス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)。	
7	服飾	ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコルセット、パッドのはいったバスル付きガーター風のボトム。17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ。	
8	服飾	BIBA	スーツ	1970	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラードジャケット、ヒップボーンのフレアーパンツ。	
9	服飾	不詳	アフタヌーンドレス	1900頃	ホワイ・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。	
10	服飾	リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のもティーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。	
11	服飾	ダゴベルト・ペッヒエ	テーブルセンター	1919/20	絹。チュールにアップリケ。	155.0×90.0
12	版画	ダゴベルト・ペッヒエ	着衣の少女	不詳	彩色、版画。サイン有り。	30.0×22.5
13	工芸	富春	石見根付 鮑に蟹	寛政7 (1795)	材質 象牙 銘 石見州可愛河青陽堂富春享年六十三歳而彫刻是干 寛政乙卯之冬也 及び 二落款	幅4.8×高さ1.5 ×奥行3.0

平成 18 年度 所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
生誕100年記念 台湾の女性画家 陳進 兵庫県立美術館 平成18年4月4日～5月14日 福岡アジア美術館 平成18年7月30日～9月10日	橋本明治《蓮を聴く》 菊池隆志《室内》
近代日本の水彩画—その歴史と展開— 茨城県近代美術館 平成18年7月22日～9月3日	大下藤次郎《裸婦》、《シドニー南端》、《多摩川畔》、《猪苗代》
森鷗外と美術 島根県立石見美術館 平成18年7月14日～8月28日 和歌山県立近代美術館 平成18年9月10日～10月22日 静岡県立美術館 平成18年11月7日～12月17日	ガブリエル・フォン・マックス《聖女テレゼ・メルル》、《煙を出す壺を抱く女》 黒田清輝《裸体》、《ポプラの黄葉》、中川 八郎《初秋の夕》 中村不折《裸体》 吉田博《風景》 和田英作《風景》 岡田三郎助《黒き帯》 和田英作《海神》 大下藤次郎《野の道》、《相模秋谷》、《シドニー》、《富士を望む》 五百城文哉《富士図》 鹿子木 孟郎《加茂ノ森》 原田直次郎《男児肖像》 藤島武二《西洋婦人像》 松本楓湖《八岐大蛇》 森鷗外『水彩画の栞』題言 森鷗外著(初版本)『ギョッツ』、『人の一生 飛行機』、『寂しき人々』、『蛙』、 『審美新説』、『審美極致論』、『審美綱領』、『洋画手引草』、『玉匣両浦島』、『謎』、 『青年』、『塵泥』、『天保物語』 『新著百種』第12号 大下藤次郎著 森鷗外題言『水彩画の栞』 『大下藤次郎遺作集』

入館者数一覧／ミュージアムバスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	40,854	6,898	6,831		13,729	5,780	3,254	660	9,694
5月	50,090	11,692	11,154		22,846	11,155	1,722	3,833	16,710
6月	35,412	3,017	4,428	2,071	9,516	4,905	4,204	694	9,803
7月	39,597	2,534	3,206	517	6,257	6,655	4,345	1,071	12,071
8月	39,750	6,907	6,381		13,288	6,264	2,820	2,937	12,021
9月	34,443	1,645	2,550		4,195	2,610	3,411	4,421	10,442
10月	49,719	4,524	5,183		9,707	9,773	4,225	5,771	19,769
11月	54,579	5,225	5,851		11,076	14,786	4,814	4,248	23,848
12月	27,362	1,489	2,173	618	4,280	4,185	2,868	2,384	9,437
1月	28,194	6,726	6,218		12,944	4,446	2,818	2,979	10,243
2月	19,465	621	1,775		2,396	4,583	3,554	2,109	10,246
3月	27,065	3,758	3,671		7,429	8,401	2,893	2,308	13,602
合計	446,530	55,036	59,421	3,206	117,663	83,543	40,928	33,415	157,886

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアムバスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	1,161	1,419	284	1,258	229	1,132	1,415	6,898
5月	1,769	3,233	462	2,280	624	1,638	1,686	11,692
6月	483	543	120	325	297	524	725	3,017
7月	165	590	56	424	177	812	310	2,534
8月	670	1,584	168	1,489	227	1,805	964	6,907
9月	156	152	9	199	421	554	154	1,645
10月	254	302	38	410	2,536	717	267	4,524
11月	1,197	474	49	840	585	1,482	598	5,225
12月	100	229	26	285	58	596	195	1,489
1月	331	1,286	146	1,650	371	2,010	932	6,726
2月	33	82	10	103	16	174	203	621
3月	282	519	27	826	311	1,190	603	3,758
合計	6,601	10,413	1,395	10,089	5,852	12,634	8,052	55,036

	コレクション展								合計
	前売券	別納券	当日券			ミュージアムバスポート	招待券	小計	
			個人	団体・割引	無料券				
4月	1,157		1,419	1,479	229	1,132	1,415	6,831	13,729
5月	1,769	1	3,116	2,571	624	1,639	1,434	11,154	22,846
6月	483	106	975	690	435	943	796	4,428	7,445
7月	164	201	672	558	312	975	324	3,206	5,740
8月	669	5	1,369	1,329	228	1,831	950	6,381	13,288
9月	156	27	451	456	489	788	183	2,550	4,195
10月	254	372	436	601	2,536	717	267	5,183	9,707
11月	1,197	136	623	1,198	585	1,504	608	5,851	11,076
12月	100	35	346	422	146	891	233	2,173	3,662
1月	331	1	1,070	1,498	372	2,014	932	6,218	12,944
2月	33	3	327	290	534	354	234	1,775	2,396
3月	282	10	532	743	311	1,190	603	3,671	7,429
合計	6,595	897	11,336	11,835	6,801	13,978	7,979	59,421	114,457

3. 企画展観覧者数

	会期	日数	観覧者数
ウイーン展	4/1(3/3～)～6/5	58	21,607(全会期合計28,421)
森鷗外展	7/14～8/28	41	9,441
スポーツウェア展	9/16～11/28	65	11,394
高円宮展	12/16～1/29	34	8,215
美しさへの挑戦展	2/24～3/31(～4/9)	31	4,379(全会期合計5,648)
合計		229	55,036

4. パスポート会員数一覧

18年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	5,250	5,430	5,498	5,531	5,615	5,643	3,663	3,318	3,232	3,294	3,318	3,305

■島根県立石見美術館の予算概要

(1) 支出予算

単位：千円

展覧会事業費	124,793
企画展示費	118,978
常設展示費	5,815
教育普及費	4,655
調査研究費	3,679
情報提供事業費	1,486
美術品保存分	2,337
その他	
小計	136,950
住民への情報提供事業	
開設準備委員会	
開設準備費	
開館記念事業費	
アドバイザー協議費	
センター運営費	39,076
指定管理委託費	327,673
開館特別事業	58,348
小計	425,097
合計	562,047
使用料・手数料	40,608
一般財源	499,439
その他	22,000

※2月補正額

(2) 収入実績

単位：千円

企画展	22,728
常設展	4,952
パスポート	9,695
目的外使用料	3,643
合計	41,018

※実績

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等は、その指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。

3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じても、知事等はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するとき、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前で指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

島根県芸術文化センター条例

(観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。
- 3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

別表第1（第3条関係）

1 施設の基準額
(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 30,640	円 40,860	円 51,070	円 61,290	円 81,720	円 102,150
		土、日曜日 及び休日	36,760	49,030	61,280	73,540	98,060	122,580
	1階席	平日	20,430	27,240	34,050	40,860	54,480	68,100
		土、日曜日 及び休日	24,510	32,680	40,860	49,030	65,370	81,720
	小ホール	平日	8,170	10,890	13,620	16,340	21,790	27,240
		土、日曜日 及び休日	9,800	13,060	16,340	19,600	26,140	32,680
スタジオ1			4,620	6,160	7,700	9,240	12,320	15,410
スタジオ2			950	1,270	1,590	1,900	2,540	3,180
大ホール大楽屋1			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール大楽屋2			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール中楽屋1			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋2			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋3			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋4			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
大ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール中楽屋1			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール中楽屋2			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
多目的ギャラリー			3,830	5,110	6,390	7,670	10,220	12,780

備考

- 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
ア 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額）
イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収す

島根県芸術文化センター条例

る場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。

7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（(2)の表において同じ。）。

8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。

2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。

3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。

4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。

2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。

島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

様式第1号（第2条関係）

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

様式第2号（第6条関係）

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

所在地

(団体にあっては、主たる事務所の所在地)

氏名

申請者

(団体にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

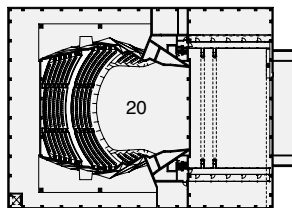
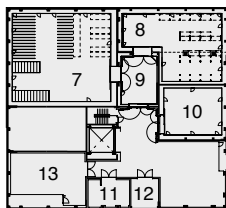
観覧期日	年 月 日 () 曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 ()		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円 × 人 = 円	%	円
上記を引率する教職員	円 × 人 = 円	%	円
その他の者	円 × 人 = 円	%	円
合計	円		円

(注) ※印欄は、記載しないでください。

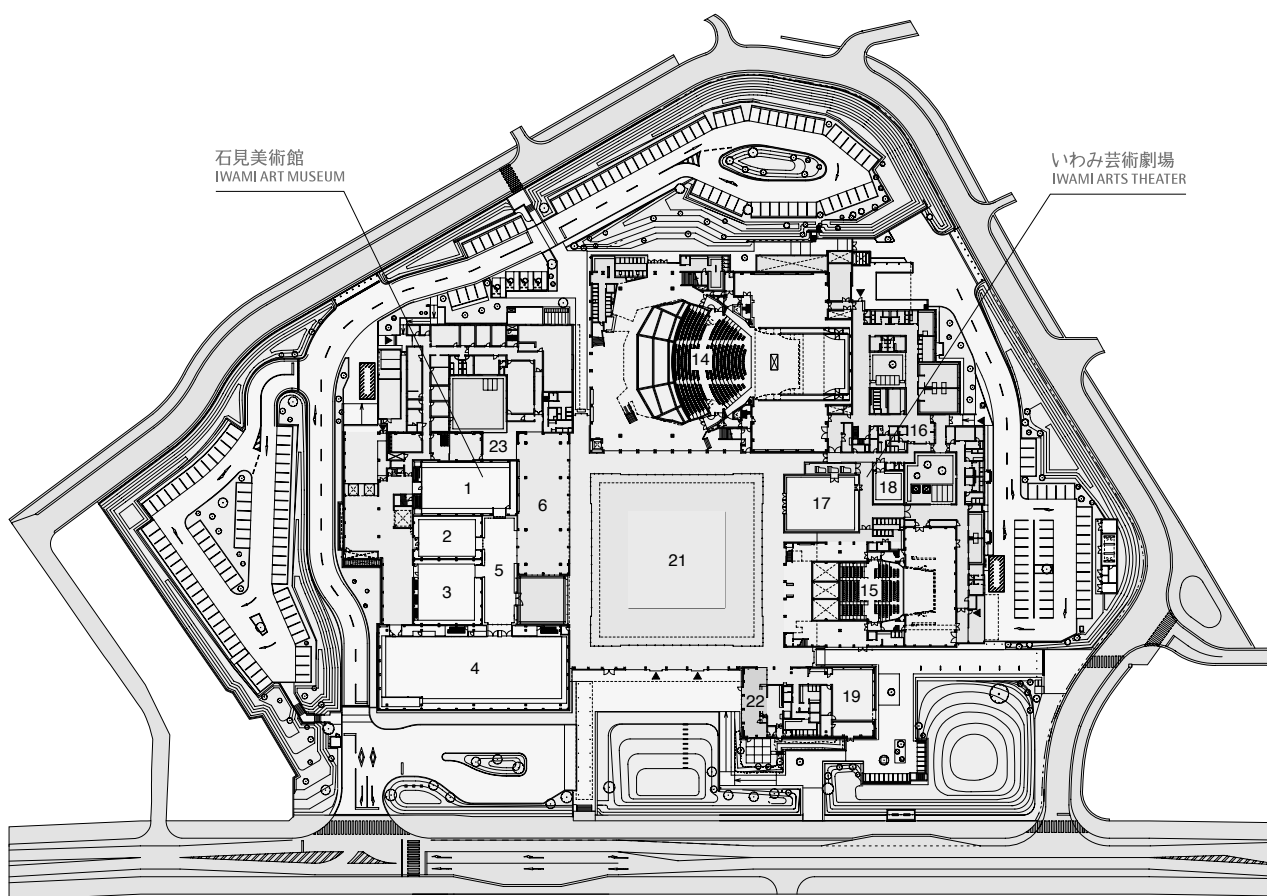
館の概要

島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER

2F



1F



石見美術館

- | | |
|----------|----------|
| 1:展示室 A | 8:収蔵庫 2 |
| 2:展示室 B | 9:収蔵庫前室 |
| 3:展示室 C | 10:一時保管庫 |
| 4:展示室 D | 11:修復室 |
| 5:展示前室 | 12:隔離室 |
| 6:美術館ロビー | 13:写真室 |
| 7:収蔵庫 1 | |

いわみ芸術劇場

- | | |
|-------------|----------------|
| 14:大ホール | 20:大ホール 2 F 客席 |
| 15:小ホール | 21:中庭広場 |
| 16:楽屋 | 22:レストラン |
| 17:スタジオ 1 | 23:ミュージアムショップ |
| 18:スタジオ 2 | |
| 19:多目的ギャラリー | |

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

〔所在地〕 島根県益田市有明町5番15号
 〔設計期間〕 2001年4月～2002年7月
 〔工事期間〕 2002年11月～2005年3月

〔設計〕 内藤廣建築設計事務所
 〔構造設計〕 空間工学研究所
 〔設備設計〕 明野設備研究所
 〔コンサルタント〕

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

〔敷地面積〕 36,564.16㎡
 〔建築面積〕 14,068.15㎡
 〔延床面積〕 19,252.45㎡
 1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡
 地下1階：3,045.66㎡
 〔建蔽率〕 38.4%（許容：60%）
 〔容積率〕 52.6%（許容：200%）
 〔用途〕 美術館・劇場
 〔規模〕 地上2階 地下1階
 〔最高高さ〕 32.24m
 〔構造〕 RC造、一部PC、S造

〔設備〕

- 空調設備、空調方式
 ホール・美術館：単一ダクト方式
 事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式
 レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式

- 熱源
 冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、
 空冷ヒートポンプチラー方式
 水製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）
 温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、
 ボイラー方式

- 衛生設備
 給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式
 給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、
 その他：局所式（電気温水器）
 排水：建物内＝汚・雑排水合流方式
 建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）

- 電気設備
 受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線
 設備容量：6250kVA
 契約電力：1500kVA
 予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA

- 防災設備
 消火設備：
 全館スプリンクラー設備
 （ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）
 美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備
 （ハロンバンク登録）
 補助散水栓
 排煙：自然排煙、機械式排煙
 その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、
 非常用照明
 昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター
 特殊設備：水景設備（中庭）オーバーフロー循環方式・
 砂濾過方式

〔施工〕

- 建築：
 大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 空調：
 新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体
- 衛生：
 新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体
- 強電：
 中電工・北陽・山代特別共同企業体

- 弱電：
 栗原工業
- 舞台機構：
 森平舞台機構
- 舞台照明：
 丸茂電機
- 舞台音響：
 ヤマハサウンドテック
- 非常用発電：
 東芝
- エレベーター：
 東芝エレベータ
- 浄化槽：
 アルファプランニングワーク
- 外構：
 大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 植栽：
 田部、大畑建設
- アスファルト舗装：
 大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 屋根・外壁石州瓦：
 施工＝益田窯業 製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ
 瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）：
 施工・製作＝シマムラ
- 外壁タイル：
 施工＝協和タイル 製造＝株式会社 スカラ
- 特殊照明：
 ヤマギワ

面積一覽

石見美術館

●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡

共用・管理部門

●応接室	43㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡
●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡
●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89㎡
●レストラン	182.6㎡

いわみ芸術劇場

大ホール	
●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡
●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32㎡
●中楽屋4	32㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡
小ホール	
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡
●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡
●楽屋ロビー	43㎡
●楽屋事務室	15.8㎡
●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室 1/2	14.1㎡

施設名称

島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

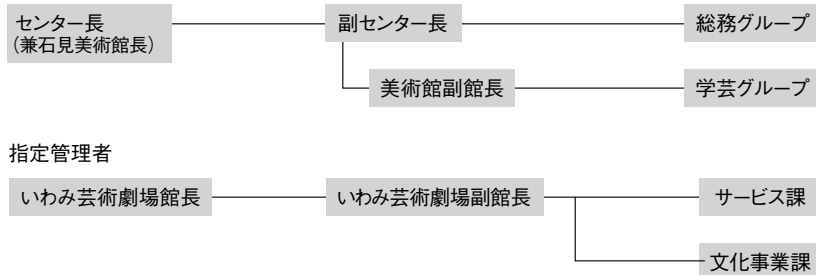
組織体制

島根県芸術文化センター協議会

- 顧問 高階秀爾(大原美術館館長、元国立西洋美術館館長)
 遠山敦子(新国立劇場理事長、元文部科学大臣)
 畠山博治(NHK理事)
 福原義春(資生堂名誉会長、東京都写真美術館館長)
 森英恵(ファッションデザイナー)
- 若杉弘(びわこホール・東京室内歌劇場芸術監督、東京芸術大学名誉教授、日本芸術院会員)
 The Tokyo Chamber Opera Theatre

島根県芸術文化センター

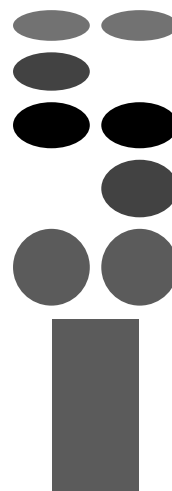
島根県



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホールの文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜従郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：開館時間：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

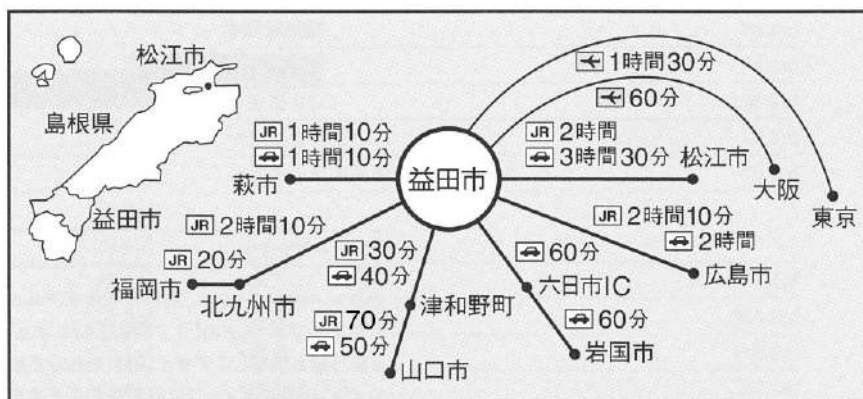
石見美術館観覧料

コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円
 ()内は20名以上の団体料金

- ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。
- ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。



交通案内

- ・石見交通「グラントワ前」バス停車(徒歩1分)
- ・JR益田駅から約1km(徒歩15分)
- ・萩・石見空港から約6km(連絡バスJR益田駅まで約15分)
- ・浜田自動車道浜田ICから約40km(自動車約50分)

平成20年3月31日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

<http://www.grandtoit.jp> E-mail : zaidan@grandtoit.jp



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM